

保証書

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 SRZ-01	
シリアルNo. 「 」	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から 1年
お客様 お名前 ご住所	様 TEL ()
販売店 店名・住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

<無料修理規定>

- 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意事項に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
 - (リ) 対象製品を直接修理窓口へ送付いただく際の送料等はお客様の負担となります。
 - (ヲ) 出張修理等に係る費用はお客様の負担となります。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

SRZ-01

取扱説明書

12V/24V 対応



このたびはユピテル製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
本機で使用する専用ソフトはお手数ですが、弊社ホームページからダウンロード
してご利用ください。(https://www.yupiteru.co.jp/)

※本書に記載されている画像はイメージです。実際とは異なる場合があります。



事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず電源OFF
してからSDカードを抜いて保管してください。



電源ONの状態でSDカードの抜き差しを行わないでください。SDカード
破損の原因となります。必ず電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを
確認し、SDカードの抜き差しを行ってください。



SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。
SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

確認とご注意

安全上のご注意	4
使用上のご注意	8

基礎知識

各部の名称と働き	10
1. 付属品	11
2. 別売品	11
3. 付属品・別売品の購入について	11
SDカードの装着/取り外し	12
1. SDカードを本体へ装着する	12
2. SDカードを本体から取り外す	13
録画について	14
1. 常時録画	14
2. イベント記録(ワンタッチ記録)	15
データ容量の目安について	16
上書きモードについて	16
マルチトリガーについて	17
メンテナンスについて	18

設置と準備

本機の取り付け	19
1. 本機を取り付ける	20
2. 電源を接続する	22
テスト記録の手順	23
1. 専用ソフトをインストールする	23
2. 本機専用のSDカードにフォーマットする	24
3. 設置角度検出をする	26
4. テスト記録をする	28
5. 記録映像を確認する	29

専用ソフト

専用ソフトの使いかた	31
1. 録画データの準備	31
2. 画面説明	33
3. 表示エリアの操作	37
再生	40
1. 録画データを再生する	40
保存(バックアップ)	43
1. バックアップ	43
2. 動画変換	44
3. 静止画変換	46
印刷	48
1. 記録した映像を印刷する	48
レポート表示	50
1. レポートを表示(印刷)する	50
ログデータ変換	55
1. Google Earth用のデータに変換する	55
設定画面の表示方法	57
1. 記録設定画面を表示する	57
記録設定	58
1. 記録設定	59
2. システム	60
3. 衝撃感度設定	60
4. マルチバッテリー設定	60
5. SDカードフォーマット	61
6. 録画データ削除	62
7. バックアップ	63
8. 初期設定に戻す	63
インフォメーション	64
1. バージョン情報を確認する	64
2. ホームページを表示する	65
3. その他	65

その他

SDカードの機種設定の確認/変更 … 66

1. SDカードの機種設定を確認する……………66
2. SDカードの機種設定を変更する……………67

動作一覧 …… 68

故障かな?と思ったら …… 70

仕様 …… 72

録画時間の目安 …… 73

1. 録画時間 ……73
2. イベント記録件数 ……74

アフターサービス …… 75

1. お客様ご相談センター ……75

保証書 …… 裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

警告：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

絵表示について

- ❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。
- 🚫 してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- 👉 関連するページを示します。

●安全上お守りいただきたいこと

警告

- ❗ 異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・ 内部に異物が入った
- ・ 内部に水が入った
- ・ 煙が出ている
- ・ 変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源ケーブルを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

👉 P.75 「アフターサービス」

- ❗ 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

- ❗ 持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。

- 🚫 本機を次のような場所に保管しないでください。

変色や変形、故障の原因となります。

- ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・ 湿気やほこり、油煙の多い所

- 🚫 本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。

破裂、発火や火傷の原因となります。

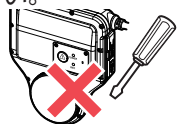
- 🚫 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。

感電や故障の原因となります。



- 🚫 サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



⚠ 注意

❌ 結露したまま使い続けしないでください。
故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

❌ 落としたり、強いショックを与えないでください。
破損、故障の原因となります。

❌ 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。
故障の原因となります。

❌ 本機を改造しないでください。
故障の原因となり保証を受けることができません。また、それによって生じた損害に関しまして当社は一切の責任を負いません。

❌ 海水を触った手などで操作しないでください。

操作すると錆や故障の原因となります。清水(淡水)で手をよく洗ってから使用してください。

⚠ 本機は精密機械です。

静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

⚠ SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

●取り付けについて**⚠ 警告**

❗ 取り付けは、操船や視界の妨げにならない場所、また操舵の妨げにならない場所に取り付けてください。

誤った取り付けは、事故の原因となります。

⚠ 注意

❗ 取り付けは確実に行ってください。
本機の脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

❗ 突起部分などにご注意ください。
取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

❗ 接続部は確実に奥まで差し込んでください。

動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

●電源ケーブルについて

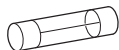
⚠ 警告

- ❗ お手入れの際は、電源ケーブルを外してください。

感電の原因となります。

- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。

指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。



- ❗ 取り付けはブレーカーを切った状態で作業してください。

ショートによる故障や感電、ケガの原因となります。

- ❗ コードの接続は＋－の極性をよく確かめて確実に行ってください。

異常過熱や発火の原因となります。

- ❗ 取り付け後は、船の電装品が正常に動作するか確認してください。

船の電装品（船舶ナビ、レーダー、魚群探知機など）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

- ❌ 指定された電源電圧以外では使用しないでください。

火災や感電、故障の原因となります。

- ❌ コードを傷つけたり、無理に曲げたりしないでください。

故障や感電の原因となります。

●SDカードについて

⚠ 警告

- ⚠ SDカードの出し入れは、本機の電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してから行ってください。



- ⚠ SDカードは一方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめのうえ、挿入してください。

無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・操船について

警告

- ！航行中は操船者による操作をしないでください。

前方不注意による事故の原因となります。

- ！航行中に操船者はカメラ等を注視しないでください。

前方不注意による事故の原因となります。

- ！ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

- ⊘急発進、急旋回しないでください。

安全上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

●本機のお手入れについて

警告

- ！レンズカバーが汚れている場合は、レンズカバーを本体に取り付けたまま、水で軽く濡らし、柔らかい布などに水を含ませて軽く拭いてください。

汚れがついたまま、乾いた布などで拭くとキズの原因となります。

- ！本機の外装を清掃する場合は、柔らかい布に水を含ませて軽く拭いてください。清掃後は、風通しの良い日陰で乾かしてください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- ⊘水以外の溶液（石鹼水、中性洗剤、溶剤）、またはベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。



使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全な操船をお心がけください。
- 本機を取り付けたことによる、船体や舶載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・ 本製品の取り付けによる船体の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 録画についての注意

- ・ 本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・ 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・ 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
- ・ 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
- ・ 本機の動作を確かめるための操船操作など、危険な操船は絶対におやめください。
- ・ 映像を正常に録画するため、カメラのレンズや船体のフロントガラスは常に清潔にしてください。
- ・ 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・ 航行中に操船者はカメラ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録(手動録画)するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・ 事故発生時は、録画データが上書きされないように必ずSDカードを保管してください。
- ・ 本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
 - ※ 本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ※ 水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ※ 長期間使用しなかった場合。
 - ※ パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

■ 取り付けに関する注意

- ・ 本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、事故やケガの原因となります。
- ・ 本機の近くにGPS機能を持つ製品を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・ テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・ 本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ GPS測位に関する注意

- ・ 本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- ・ 電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)やフロントガラスをメタリックフィルム等で着色している場合、GPSを測位できない場合があります。
- ・ 巡航速度や進行角度、距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

■ 電源ケーブルに関する注意

- ・ 電源ケーブルは、必ず付属品をご使用ください。
- ・ ヒューズケーブルのヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズと交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

■ SDカードに関する注意

- SDカードは必ず別売品の専用SDカードを使用してください。市販品のSDカードを使用すると、正常に録画できない場合があります。
- カードリーダーは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないカードリーダーを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。別売品のSDカード(OP-SD64、OP-SD128)をお使いのときは、カードリーダーがSDXCメモリーカードに対応しているかご確認ください。対応していないカードリーダーに接続すると、SDXCメモリーカード本来の容量で使用できなくなることがあります。
- SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- SDカードはデータの書き込みと消去を繰り返すことで断片化が進みSDカードエラーが起きやすくなります。本機は断片化しない独自のシステムを採用しており定期的なフォーマットは不要です。
- SDカードには寿命があります。SDカードのデータを記録する部分は多くのメモリーセクターで構成され、繰り返しデータの書き換えを行うとメモリーセクターは劣化する特性があります。劣化が進むとメモリーセクターの一部が破損し、正常に録画ができなくなる可能性があるため、定期的に新しいSDカードへの交換をお勧めします。
- SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
- 重要な記録データは、パソコンへの保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
- 本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。
- SDカード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。

■ 保証に関する注意

- 本製品にはお買い上げから1年間の保証がついています。(ただし、消耗品は保証の対象となりません。)

■ 真夏などの炎天下での注意

- サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をフロントガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障につながる可能性があります。

■ 使用前の注意

- 必ず使用前に専用ソフトをパソコンにインストールし、使用するSDカードの[機種選択][完全フォーマット]を行ってください。(● P.23、24)

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- 他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

■ 撮影された映像について

- 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

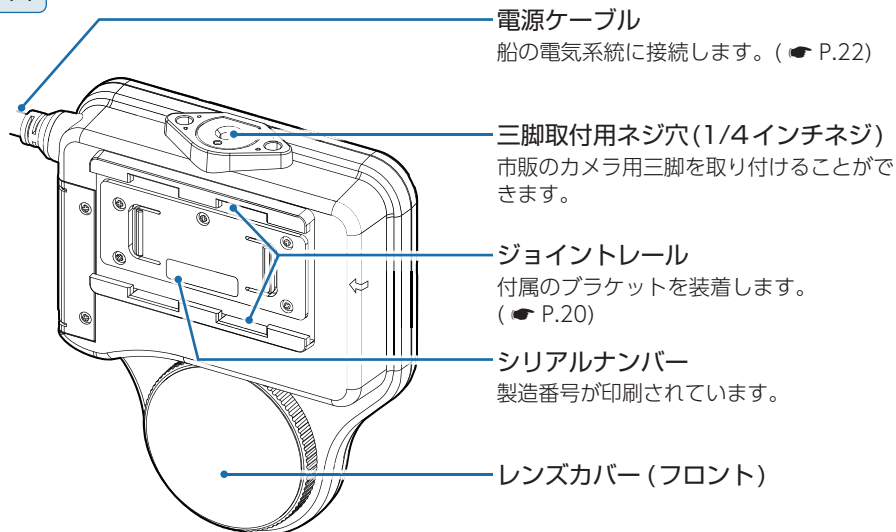
■ 防水機能について

- 本機はSDカードカバーを完全に閉じた状態(隙間や浮きがない)で[IP68]相当の防水機能を有しています。(当社の定める試験条件による)
- お客様の誤った取り扱いが原因の浸水などによる故障は保証対象外となります。
- 本機内部は防水仕様ではありません。浸水した場合は故障します。
- SDカードカバーの開閉時、カバー内側に異物が付着していないことや防水パッキンにひび割れや変形がないことを確認してください。そのままの状態で使用した場合、防水性能が損なわれます。
- 本機をぶつけたり、落下させたりなどの衝撃を与えた場合、防水性能は保証いたしません。本機に衝撃が加わった場合は、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

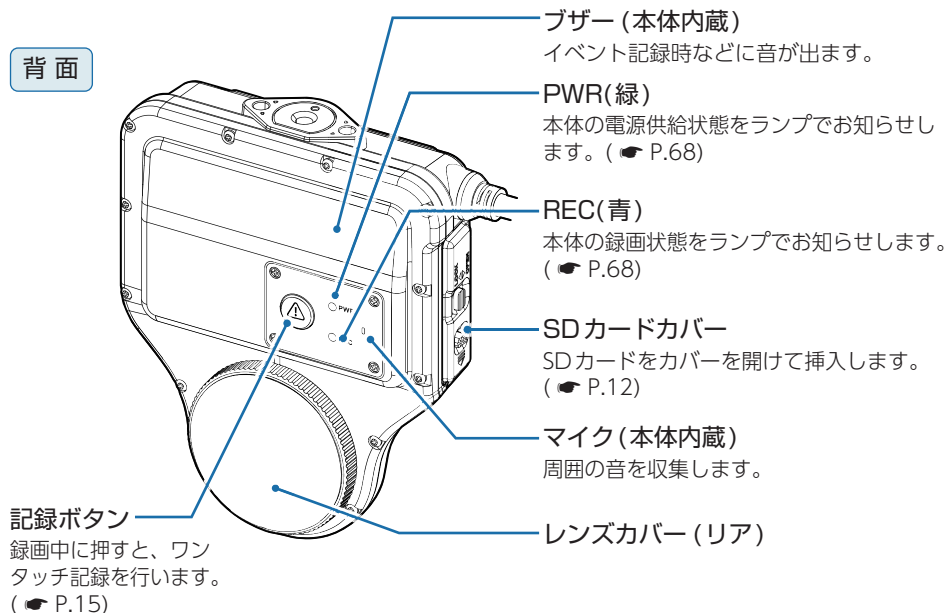
各部の名称と働き

■ 本体

正面



背面



1. 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

■ ブラケット …………… 1	■ ヒューズケーブル …………… 1
■ 両面テープ (☛ P.20) …………… 2 (ブラケットに使用します。)	■ 取扱説明書・保証書(本書) …………… 1

※本製品にはSDカードは付属していません。別売品の専用SDカードを別途ご用意ください。

- ・本機には、お買い上げの日から1年間の製品保証がついています。ただし、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。
- ・本機の故障による代替品の貸出は当社では一切行っておりません。
- ・SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

2. 別売品

■ 専用SDカード

OP-SD16(16GB) :	6,600円
OP-SD32(32GB) :	11,000円
OP-SD64(64GB) :	19,800円
OP-SD128(128GB) :	39,600円

※別売品の専用SDカード以外は使用しないでください。

3. 付属品・別売品の購入について

- ・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用〇〇(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

▼Yupiter スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

SDカードの装着 / 取り外し

⚠ 注意

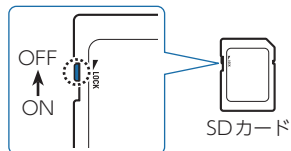
- ・電源ON時にSDカードの抜き差しを行わないでください。SDカード破損の原因となります。必ず、電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認し、SDカードの抜き差しを行ってください。
- ・別売品の専用SDカード以外は使用しないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。また、初めて本機で使用する場合は専用ソフトでフォーマットを行ってください。
- ・SDカードは一方方向にしか入りません。SDカードを図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体やSDカードが壊れることがあります。
- ・本機や手が濡れている状態でSDカードカバーを開閉しないでください。
- ・SDカードカバーの開閉時、カバー内側に異物が付着していないことや防水パッキンにひび割れや変形がないことを確認してください。そのままの状態で使用した場合、防水性能が損なわれます。

● SDプロテクトスイッチについて

SDカードには、プロテクト（書き込み禁止）機能が付いています。使用時には、プロテクトスイッチをOFFにしてください。

- ON 書き込み・消去不可
OFF 書き込み・消去可能

プロテクトスイッチ

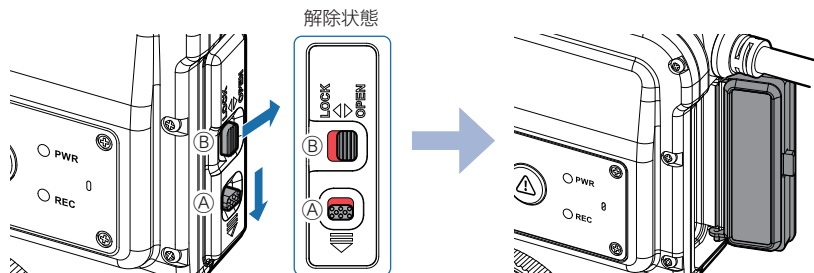


1. SDカードを本体へ装着する

1-1 分電盤スイッチをOFFする

本体の電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

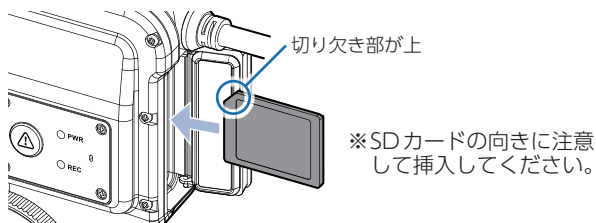
1-2 SDカードカバーを開ける



①を②の下に押しながらか③を右側 (OPEN) に押して、ロックを解除してください。

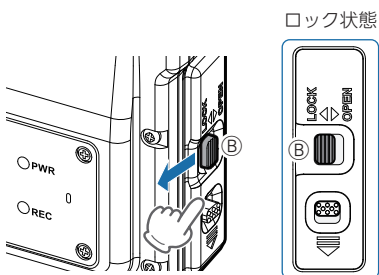
※開けづらい場合は、本体をブラケットから外してください。(P.20)

1-3 SDカードを挿入する



SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで爪などで押し込んでください。

1-4 SDカードカバーを閉じる



SDカードカバーを押さえながら閉じ、⑥を左側(LOCK)に押しつけてロックしてください。

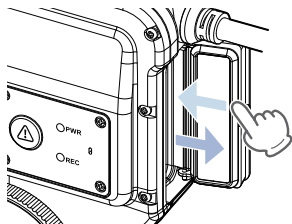
※赤い下地が見えなくなるまで確実にロックしてください。

※本機はカバーを完全に閉じた状態(隙間や浮きがない)で防水機能を有しています。

2. SDカードを本体から取り外す

2-1 P.12手順「1-1 ～ 1-2」を行う

2-2 SDカードを爪などで押し込み、少し飛び出してから引き抜く

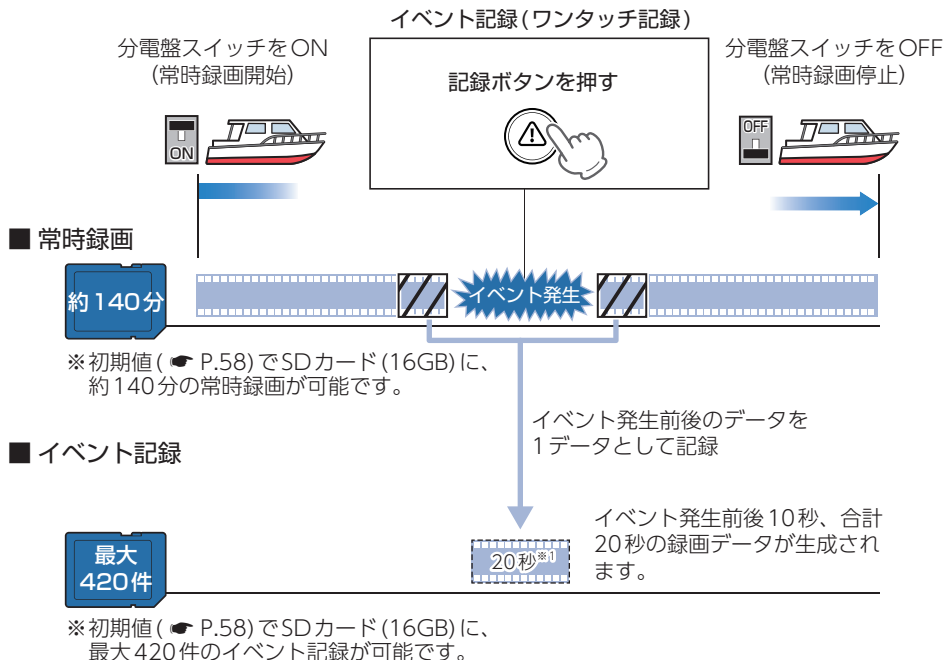


※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

録画について

録画方法は、[常時録画]、[イベント記録]、[常時+イベント]があります。専用ソフトを使って、録画方法を選択することができます。(☛ P.59)

※初期値は[常時+イベント]です。



※1：前後時間比率は、専用ソフトで変更することができます。(☛ P.59「イベント記録時間」)

1. 常時録画

分電盤スイッチのONからOFFまでの映像をSDカードに常時録画します。記録したい時間に合わせて、設定を変更してください。(☛ P.59)

・録画データ構成

分電盤スイッチONからOFFまでを1データで生成します。

・録画可能時間

初期値(☛ P.58)で、SDカード(16GB)に約140分の常時録画が可能です。SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。(☛ P.73「録画時間」)

・上書きモード

初期値では、上書きモードが[ON]のため、140分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.16「上書きモード」)

2. イベント記録(ワンタッチ記録)

イベント記録(ワンタッチ記録)時は音が鳴り、記録が行われます。

※前後時間比率は、記録設定によって変更することができます。(☛ P.59)

※記録時の音は設定でOFFにすることができます。(☛ P.60)

※フレームレート(録画コマ数)を[2コマ/分]、[1コマ/分]、[12コマ/時]、[6コマ/時]に設定した場合、イベント記録コマ数は[1コマ/秒]になります。(☛ P.59)

・録画データ構成

1データあたり最大60秒(イベント発生前後30秒)で生成します。

・最大記録件数

初期値(☛ P.58)で、SDカード(16GB)に420件のイベント記録が可能です。

SDカードの容量によって最大記録件数は異なります。(☛ P.74「イベント記録件数」)

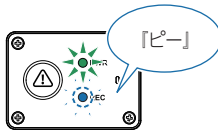
・上書きモード

初期値では、上書きモードが[ON]のため、記録件数が420件を超えると、古いイベント記録を上書きします。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.16)

■ ワンタッチ記録(手動録画)

本体の記録ボタンを押すことで、押した前後の映像を「ワンタッチ記録」としてSDカードに記録します。

記録ボタンを押す



※音が鳴り、REC(青)が早点減します。

録画設定が[常時録画]または[常時録画+イベント]の場合、記録ボタンを押すことで、常時録画の映像に対してタイムラインにトリガが黄色でマークされます。

※トリガは常時録画の映像に対してマークされているため、常時録画の映像が上書きされた場合、トリガも上書きされます。

※録画設定を[常時録画]にした場合、ワンタッチ記録は行いませんが、常時録画データにトリガはマークされます。

⚠ 注意

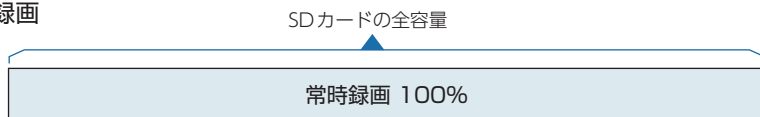
ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

データ容量の目安について

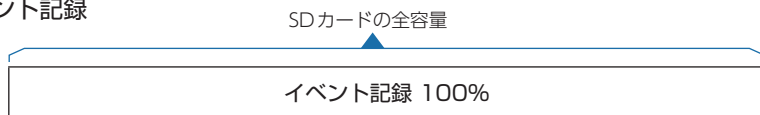
本機は、録画方法によってSDカードのデータ容量の上限がそれぞれ決められています。

※ 上限を超える場合の動作は、「上書きモードについて」を参照ください。

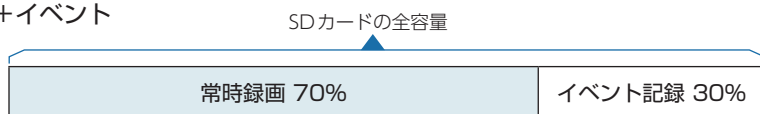
■ 常時録画



■ イベント記録



■ 常時+イベント



上書きモードについて

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(P.59)

上書きモード	上限に達した場合の動作	
	ON(初期値)	OFF
常時録画	古い常時録画データから上書きします。	上書きしません。
イベント記録	古いイベント記録データから上書きします。	上書きしません。
履歴記録	古い履歴記録データから上書きします。	上書きしません。

● 上書きモードを全て [OFF] にした場合…

上書きモードを [OFF] にすると、各録画方法のデータ容量が上限に達した場合、「ピーピーピーピー」と4回音が鳴り、その録画方法での録画を停止します。

マルチトリガーについて

本機では、イベント記録中に再度記録ボタンが押された場合、2回目以降のイベントも1つのデータとして連続で記録します。

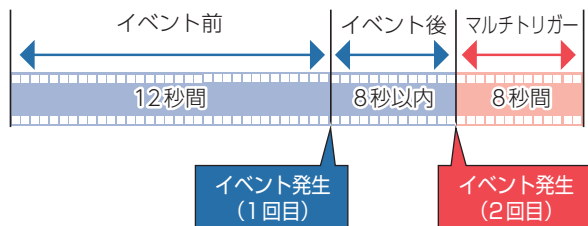
※マルチトリガー検知後は、設定されている時間(イベント検知後の時間)記録します。

※イベント記録の1データの最大秒数は、60秒になります。

※イベント記録時間の設定が60秒(30,30)の場合は、マルチトリガーは行いません。

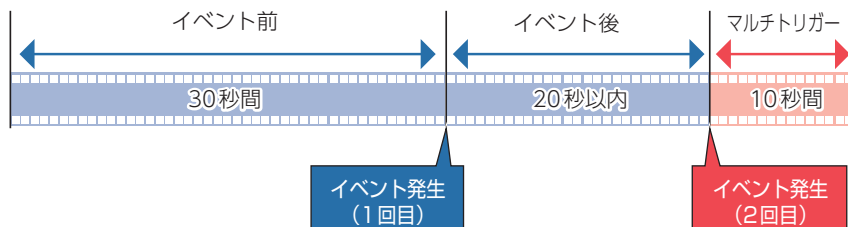
■ 例1：イベント記録時間の設定が12秒 / 8秒の場合

2回目のイベント発生後、さらに8秒間イベント記録を続けます。



■ 例2：イベント記録時間の設定が30秒 / 20秒の場合

1データのイベント記録の最大秒数が60秒のため2回目のイベント後、さらに10秒間イベント記録を続けます。



メンテナンスについて

■ 必要に応じてメンテナンス

・ 付属のヒューズケーブルのヒューズ交換

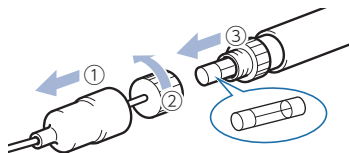
※ 交換用ヒューズ 2A (30mm × 6.5mm)

接続状態で分電盤スイッチをONしても電源ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

- ・ 接続コード類が外れていないか確認してください。
- ・ 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ・ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

- ① ヒューズケースのカバーを外す。
- ② ヒューズケースのフタを矢印の方向に回す。
- ③ ヒューズを取り出し交換する。

※ ヒューズを交換したあとは、逆の手順で復元してください。

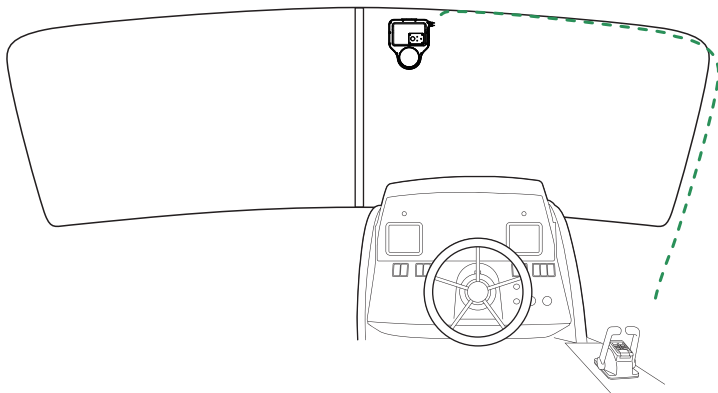


本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を船体に取り付けてください。

取り付けの注意

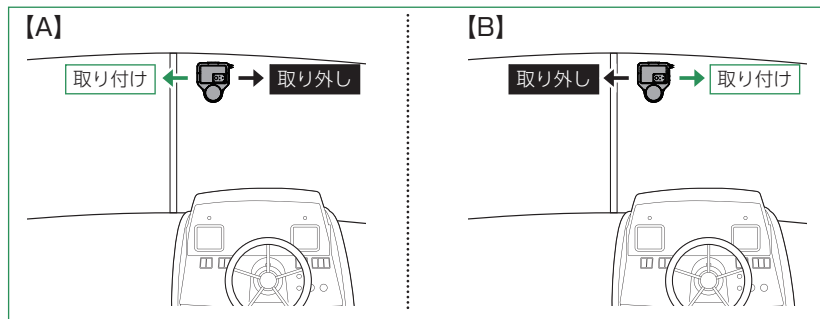
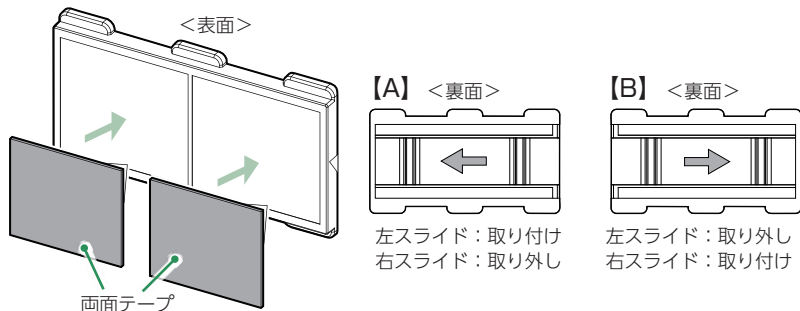
- ・操船や視界の妨げにならない場所、また操舵の妨げにならない場所に取り付けてください。
- ・本機の周囲に物を配置しないでください。映像が映り込む可能性があります。
- ・取り付け前に、取り付け位置で電源ケーブルなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。
- ・両面テープは所定の位置にしっかり取り付けてください。



1. 本機を取り付ける

あらかじめ、フロントガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

1-1 ブラケットに付属の両面テープを貼り付け、フロントガラスに取り付ける



取り付け場所周辺の状況に合わせて、本体着脱時のスライド方向を決めてください。

ブラケット裏面の矢印方向に本体をスライドで取り付け、逆方向にスライドで取り外しできます。

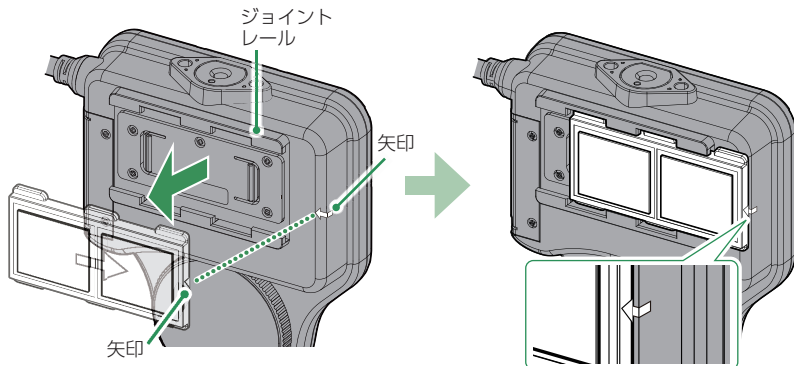
■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- ・貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。
- ・固定力を強くするために本体を取付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

ブラケットに本体を装着する

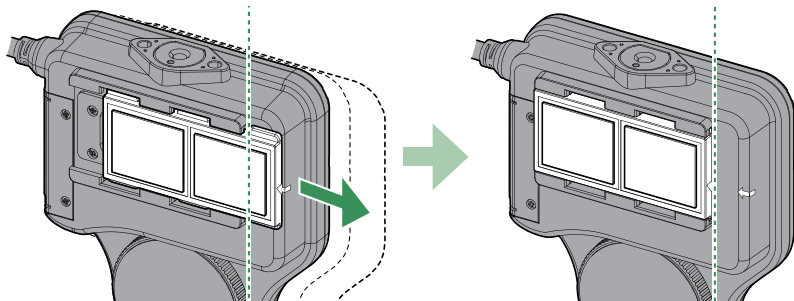
例：【A】の場合

- ①本体側面の矢印とブラケット側面の矢印を合わせてジョイントレールにはめ込む(※【B】の場合はSDカードカバー側の矢印に合わせてください。)



※『カチッ』と音がするまでジョイントレールに押し込んでください。

- ②本体を矢印方向にスライドさせる
(※【B】の場合は矢印と逆方向にスライドしてください。)

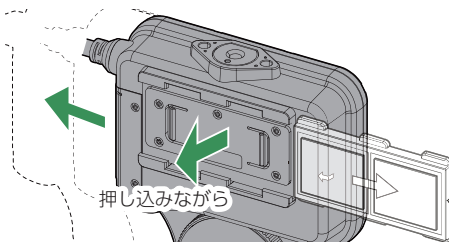


※『カチッ』と音がするまでスライドさせ、軽く引っ張り本体が外れないことを確認してください。奥まで入っていない場合、航行中に落下する恐れがあります。

●取り外し方法

本体を押し込みながら矢印方向にスライドしてください。

※【B】の場合は矢印と逆方向に
スライドしてください。

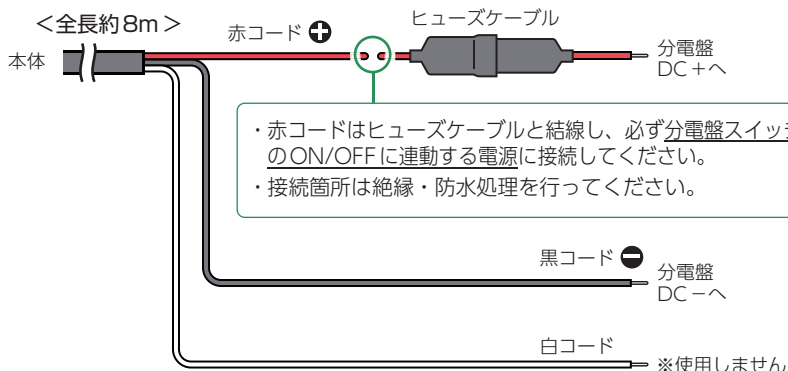


2. 電源を接続する

⚠ 注意

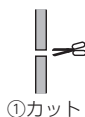
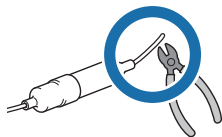
- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず船のブレーカーを切った状態で作業してください。
- ・船舶ナビやレーダー、魚群探知機などを搭載した船舶では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

2-1 電源ケーブルを接続する



付属の電源ケーブルを船の電気系統へ接続します。

- ヒューズケーブル/電源ケーブルが長い場合は船体に合わせて切断してください。



①カット



②被覆はがし



③絶縁・防水処理

2-2 市販品の結束バンドや両面テープなどを使い、配線処理を行う

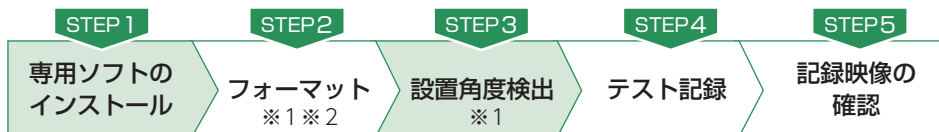
- 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・操船の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・船の電装機器（アンテナ等含む）などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付けと配線が終了したら、船内の各種機器・操作系統等の動作が正常に行われるか確認してください。正常に作動しないと火災や感電、事故の原因となります。

テスト記録の手順

映像を記録するための準備を行います。



※1：初回使用前に必ず行ってください。

※2：新しいSDカードと交換する場合は必ず行ってください。

1. 専用ソフトをインストールする

弊社ホームページより専用ソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。

■ 専用ソフト【PC Browser】

https://www.yupiteru.co.jp/download/update/bu_drr.html

■ 動作環境

OS	Microsoft Windows 11、10
CPU	Intel Core i5、3.0GHz 以上
RAM	8GB 以上

(2023年10月現在)

※誤って専用ソフトを削除した場合、またはOSやシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ソフトをダウンロードしてください。

※WindowsのアップデートやGoogle マップの仕様変更などにより、専用ソフトで地図が表示できないなど、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

※対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。

※推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

※お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

※CPUやメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。

※専用ソフトの画面サイズは1024 × 768 ピクセル固定です。

※コントロールパネル内のディスプレイの設定が「100%」になっていないと起動することができません。

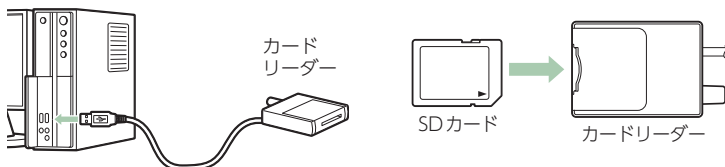
※本機の記録解像度は、最大約280万画素ですが専用ソフトで表示する場合は、画像処理で減少します。

2. 本機専用のSDカードにフォーマットする

⚠ 注意

- ・SDカードを本機で初めて使用する場合は、必ず[機種選択][完全フォーマット]を行ってください。
- ・専用ソフトで「有効なSDカードではありません」と表示される場合も[機種選択][完全フォーマット]を行ってください。

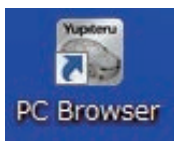
2-1 カードリーダーをパソコンに接続し、本機で使用するSDカードをカードリーダーに接続する



※ご使用のSDカード容量に対応していないカードリーダーを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

※SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーを接続する必要はありません。

2-2 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



専用ソフトが起動します。

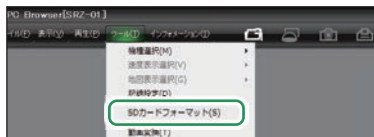
2-3 メニューバーの[ツール]⇒[機種選択]⇒[SRZ]⇒[SRZ-01]を選択する



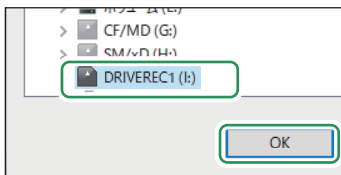
PC Browserの右側に[SRZ-01]、と表示されます。

※間違った機種を選択した場合、本機は正常に動作しません。

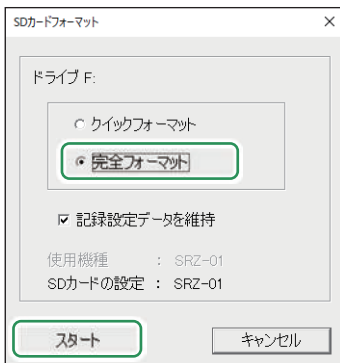
2-4 メニューバーの[ツール]⇒[SDカードフォーマット]を選択する



2-5 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする

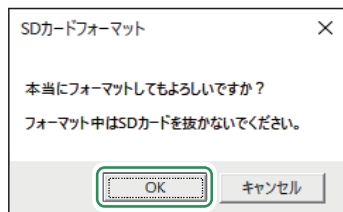
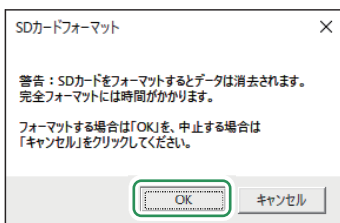


2-6 [完全フォーマット]を選択し、[OK]をクリックする

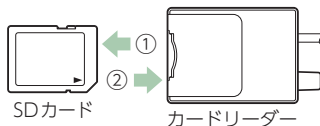
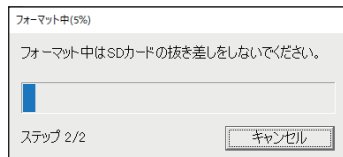
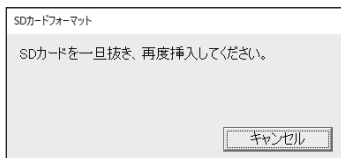


- ・クイックフォーマット(P.61)
録画データを消去する簡易的なフォーマットのため短時間で終了します。
- ・完全フォーマット
SDカード内のチェックを行いながらフォーマットするため時間がかかります。
- ・記録設定データを維持
SDカードの初期化を行っても、記録設定データを保持します。
※ ✓を外すと工場出荷時の内容に戻り、現在の記録設定データは削除されます。

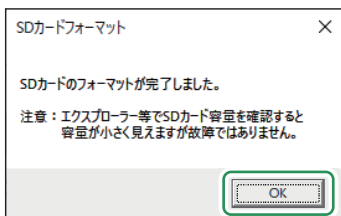
2-7 画面を確認し[OK]をクリックする



2-8 SDカードを抜き差しする



2-9 [OK]をクリックする



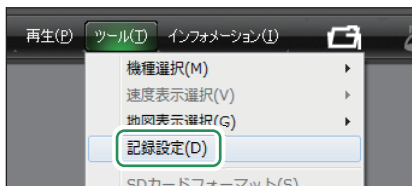
フォーマットが完了します。

3. 設置角度検出をする

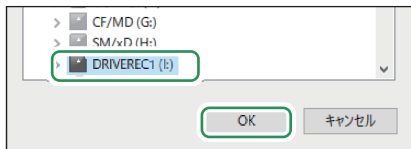
⚠ 注意

- ・本機を初めて取り付けるときや、設置場所を変更した場合は[設置角度検出]を行ってください。
- ・設置角度検出は波が穏やかな日に行ってください。

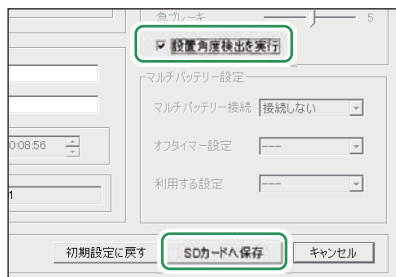
3-1 メニューバーの[ツール]⇒[記録設定]を選択する



3-2 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする

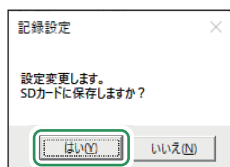


3-3 [設置角度検出を実行]に✓を入れ、[SDカードへ保存]をクリックする

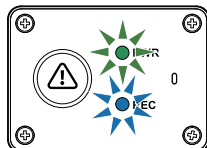


※[設置角度検出を実行]の✓は、設定後には外れた状態になります。もう一度設定する時以外は、✓を入れる必要はありません。

3-4 [はい]をクリックし、パソコンからSDカードを取り出す



3-5 本体に設定済のSDカードを挿入(P.12)し、分電盤スイッチをONする



・動作一覧(P.68)

設置角度検出を自動で行います。

PWR(緑)とREC(青)が点灯になれば完了です。

※設置角度検出中は船を移動させないでください。

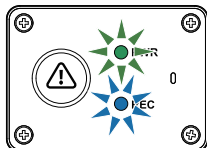
※本体から『ピー』と鳴る場合は、SDカードの挿入を確認してください。

4. テスト記録をする

⚠ 注意

- ・分電盤スイッチのON/OFFに連動して録画を開始/停止します。
- ・テスト記録前に、本体を軽く引っ張り本体が外れないかを確認してください。

4-1 分電盤スイッチをONする



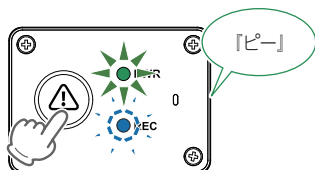
・動作一覧 (👉 P.68)

録画を開始します
PWR(緑)とREC(青)が点灯します。

●録画開始までの時間について

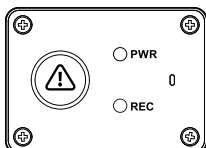
本体の状態によって録画開始まで、数秒から最大40秒かかる場合があります。
REC(青)の状態を確認してから航行を開始してください。

4-2 録画中に記録ボタンを押して、イベント記録(ワンタッチ記録)する



ワンタッチ記録中はREC(青)が早点滅します。

4-3 数分後、分電盤スイッチをOFFする

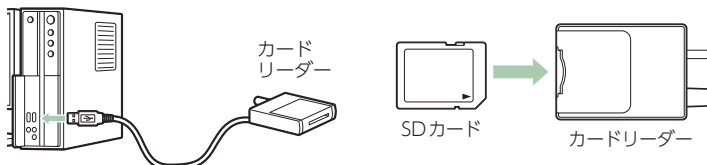


録画を停止します。
PWR(緑)とREC(青)が消灯します。

5. 記録映像を確認する

5-1 本体からSDカードを取り出す (P.12)

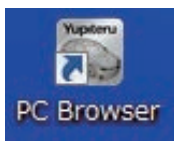
5-2 カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードをカードリーダーに接続する



※ ご使用のSDカード容量に対応していないカードリーダーを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

※ SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーを接続する必要はありません。

5-3 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする

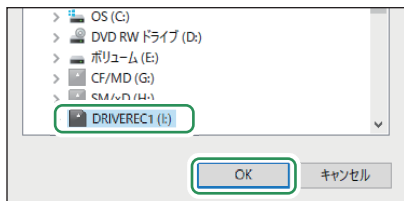


専用ソフトが起動します。

5-4 (フォルダ)をクリックする

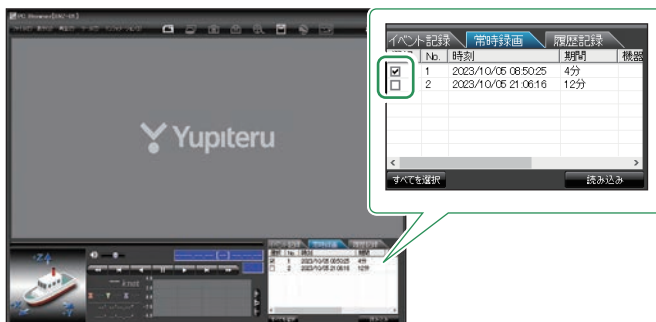


5-5 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



※ メニューバーの[ファイル]⇒[データフォルダを指定]⇒[DRIVEREC1]を選択しても同じ画面表示になります。

5-6 確認したい録画データ名に✓を入れ、[読み込み]をクリックする



※複数のデータを選択できます。

※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに✓が表示されます。

5-7 (再生)をクリックする



録画データを再生します。

ボタン操作の詳細は 🖱️ P.35 を参照ください。

●テスト記録を確認したら…

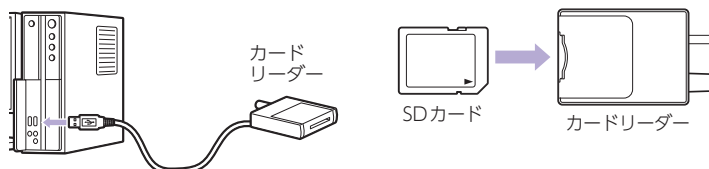
テスト記録に問題が無ければ、記録設定 (🖱️ P.59) をお好みの設定に変更し、SDカードを本体に戻してご使用ください。

問題がある場合は、取り付けや設定を確認して再度動作テストを実行してください。

専用ソフトの使いかた

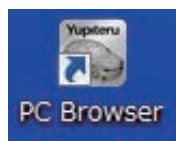
1. 録画データの準備

- 1-1 カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードをカードリーダーに接続する



※ ご使用のSDカード容量に対応していないカードリーダーを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。
※ SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーを接続する必要はありません。

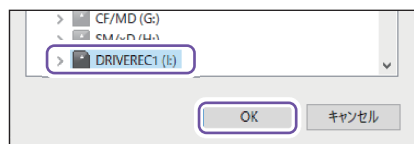
- 1-2 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



- 1-3  (フォルダ)をクリックする



- 1-4 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



常時録画の録画データ名を一覧で表示します。

■ 録画データの種類

① イベント記録		② 常時録画		③ 履歴記録	
選択	No.	時刻	期間	機器	
☐	1	2023/10/05 08:50:25	4分		
☐	2	2023/10/05 21:06:16	12分		

No.	表示名	説 明
①	イベント記録	イベント記録の録画データ名を一覧で表示します。
②	常時録画	常時録画の録画データ名を一覧で表示します。
③	履歴記録	履歴記録のデータ名を一覧で表示します。

1-5 データ名の一覧より、見たい録画データ名に✓を入れ、[読み込み]をクリックする

イベント記録		常時録画		履歴記録	
選択	No.	時刻	期間	機器	
☒	1	2023/10/05 08:50:25	4分		
☐	2	2023/10/05 21:06:16	12分		

すべてを選択 読み込み

※複数のデータを選択できます。

※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに✓が表示されます。

※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。



録画データを表示します。

2. 画面説明



No.	表示名	説明
①	メニューバー	- フォルダを指定します。 - 静止画に変換します。(☞ P.46) - 印刷をします。(☞ P.48) - 動画変換します。(☞ P.44) - データのバックアップをします。(☞ P.43) - ログデータに変換します。(☞ P.55) - レポートを表示します。(☞ P.50) - 記録設定の変更をします。(☞ P.58)
②	表示エリア	選択したデータの映像を表示します。(☞ P.37「表示エリアの操作」)
③	日付・時刻 ^{*1}	映像を記録した日付と時間を表示します。
④	NIGHT(ナイト)モードボタン	映像を明るく表示します。 NIGHT : ON(青背景)、 NIGHT : OFF(黒背景)
⑤	音量	音量の調整をします。(☞ P.35)

No.	表示名	説 明
⑥	タイムライン	映像のタイムラインとカーソルです。黄色の縦線は、イベント位置を表しています。(P.35)
⑦	再生ボタン	再生や、早送りなどの操作を行います。再生時に再生速度を表示します。(P.35)
⑧	地図表示 ^{※2}	読み込まれた映像はGoogle マップに連動して自船位置が移動します。インターネットに接続されていないと、地図(Google マップ)は表示されません。 ※ 表示しない場合は、[読み込み]をクリックする前にメニューバーの[ツール]⇒[地図表示選択]⇒[地図を表示しない]を選択してください。
⑨	速度表示	GPS で記録した巡航速度「ノット(knot)」を表示します。
⑩	加速度表示	記録されている衝撃(加速度)の値を、前後(X方向：赤色)、左右(Y方向：黄緑色)、上下(Z方向：青色)で表示します。
⑪	緯度・経度表示	GPS で記録した緯度(N)・経度(E)を表示します。
⑫	加速度センサーグラフ	加速度センサーグラフを表示します。(P.36)
⑬	トリガリスト表示ボタン	常時録画中のイベント位置(ワンタッチ記録位置)を表示します。(P.36)
⑭	プレイリスト一覧	選択されているデータを表示します。

※1

時刻には本体時刻(本体に記録されている時刻)とGPS時刻(GPS測位により取得した時刻)があります。各録画方法により録画データ名で使用される時刻は異なります。

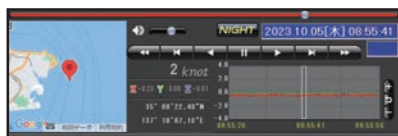
イベント記録 常時録画	GPS非測位の場合は本体時刻、GPS測位時はGPS時刻を使用します。 (P.41)
履歴記録	本体時刻を使用します。(P.42)

※2

録画データを再生中に本体時刻で表示(GPS非測位時)している場合、GPS測位をしたタイミングでGPS時刻に表示を更新します。



GPS 非測位 (本体時刻)



GPS 測位 (GPS時刻)

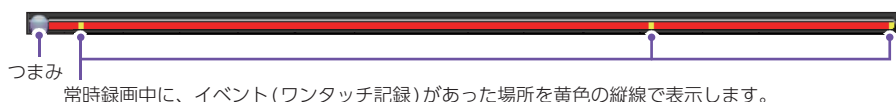
■ 音量

つまみを左右スライドさせ音量の調節をします。

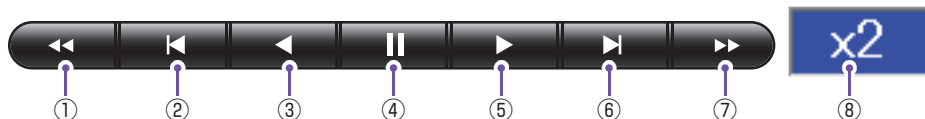


■ タイムライン

つまみをスライドさせ再生ボタンをクリックすると、その場所から再生できます。

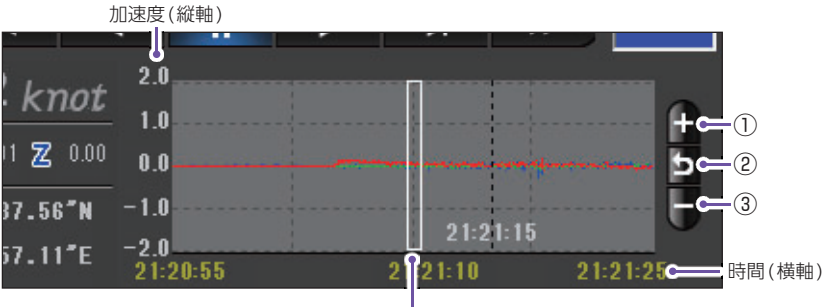


■ 再生ボタン



No.	表示名	説 明
①	⏮ 早戻し	1回クリックすると2倍速、2回クリックすると4倍速、3回クリックすると8倍速、4回クリックすると16倍速で早戻しします。
②	⏪ 前コマ	クリックする度に前のコマに戻ります。
③	⏮ 逆再生	1回クリックすると1倍速（通常速度）、2回クリックすると0.5倍速（スロー）で逆再生します。
④	⏸ 停止	1回クリックすると再生を停止します。
⑤	⏩ 再生	1回クリックすると1倍速（通常速度）、2回クリックすると0.5倍速（スロー）で再生します。
⑥	⏭ 次コマ	クリックする度に次のコマに移ります。
⑦	⏭ 早送り	1回クリックすると2倍速、2回クリックすると4倍速、3回クリックすると8倍速、4回クリックすると16倍速で早送りします。
⑧	—	再生速度の倍速数を表示します。(x0.5、x1、x2、x4、x8、x16)

■ 加速度センサー表示

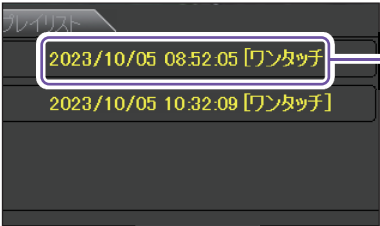


エリア内をクリックするとカーソルが移動します。再生ボタンを押し、カーソルの位置から再生することができます。

No.	表示名	説 明
①	 グラフ拡大	加速度センサーのグラフが拡大します。
②	 グラフ標準	加速度センサーのグラフが標準に戻ります。
③	 グラフ縮小	加速度センサーのグラフが縮小します。

■ トリガリスト表示ボタン

 トリガリスト表示 ボタンをクリックするとトリガのプレイリストに切り替わります。



クリックすると、記録したイベントまでジャンプし、映像を再生することができます。

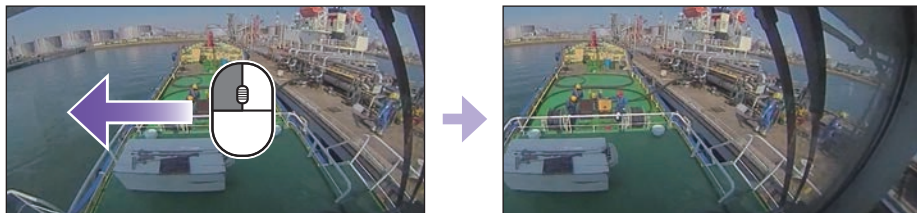
3. 表示エリアの操作

表示エリアでは下記の操作が行えます。

■ マウス操作

・ 移動

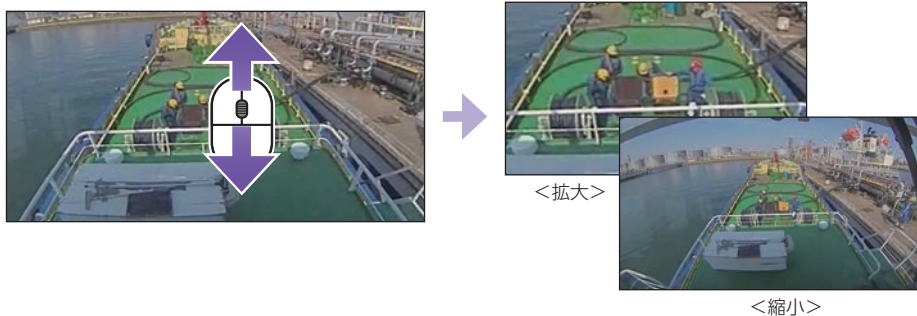
マウスの左ボタンをクリックし、表示させたい部分まで移動します。



・ 拡大・縮小

マウスのホイールボタンを前後に回転させ画面を拡大/縮小します。

※ 画面表示エリアメニューからも操作できます。



■ 画像表示エリアメニュー

マウスの右クリックで[画面表示エリアのメニュー]を表示します。



①画像状態

画像の向きを表示します。

②標準に戻す

反転、拡大・縮小した画像を初期表示に戻します。

③反転

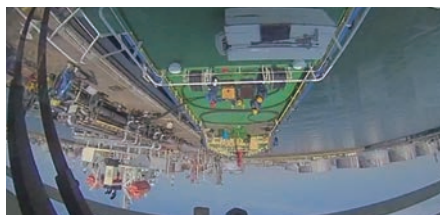
[左右反転]をクリックすると、画像を左右に反転します。

[上下反転]をクリックすると、画像を上下に反転します。

[前後反転]をクリックすると、画像を前後に反転します。



<左右反転>



<上下反転>



<前後反転>

④拡大・縮小

[拡大]をクリックすると、表示画像の中央を基準に画像を200%拡大します。

[縮小]をクリックすると、表示画面の中央を基準に画像を50%縮小します。



<拡大>



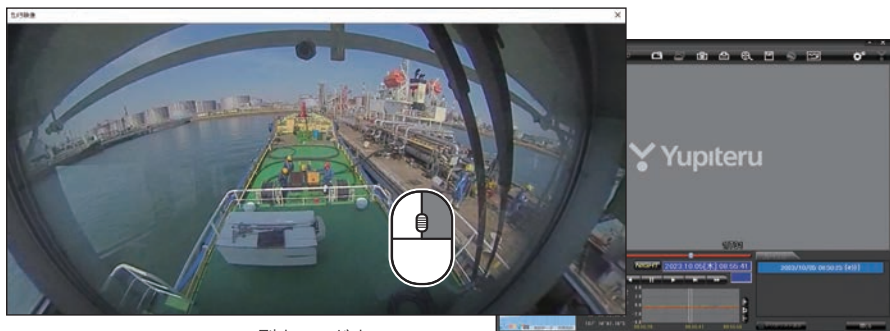
<縮小>

⑤NIGHT モード

映像を明るく表示します。

⑥別ウィンドウで表示

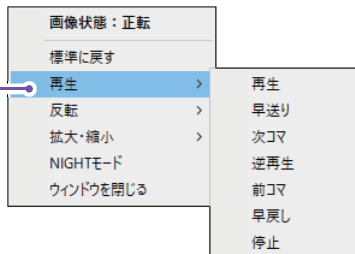
表示エリアの映像をブラウザとは別ウィンドウで表示します。



<別ウィンドウ>

・再生

別ウィンドウ内で右クリックすると、映像の再生・停止などを操作することができます。

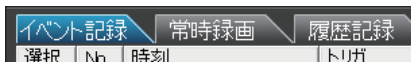


再生

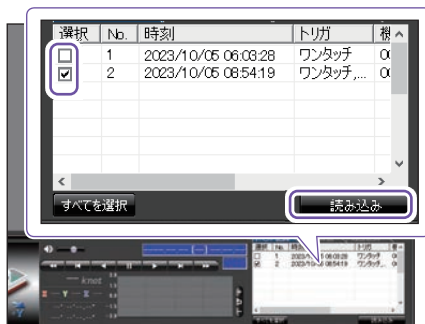
1. 録画データを再生する

例：イベント記録を再生する場合

1-1 [イベント記録]をクリックする



1-2 データ名の一覧より、見たい録画データ名に✓を入れ、[読み込み]をクリックする



※複数のデータを選択できます。

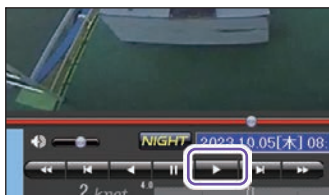
※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに✓が表示されます。

※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

選択した録画データが読み込まれ表示されます。再生時のボタン操作は
☞ P.35 「再生ボタン」を参照ください。

1-3 (再生)をクリックする



録画データを再生します。

- ・ イベント記録の再生画面の詳細は … ☞ P.41
- ・ 常時録画の再生画面の詳細は …… ☞ P.41
- ・ 履歴記録の再生画面の詳細は …… ☞ P.42

イベント記録の再生画面



■ イベント記録のデータ名について

ワンタッチ記録を検知した日付、時間がデータ名となります。
※本体時刻または、GPS測位時はGPS時刻を使用します。(☛ P.34)

2023 / 10 / 05 12 : 34 : 56 ワンタッチ
年 月 日 時 分 秒 トリガ

※ イベントが複数あった場合は「ワンタッチ, など」と記録されます。

常時録画の再生画面



■ 常時録画のデータ名について

日時、時間、期間がデータ名となります。
※本体時刻または、GPS測位時はGPS時刻を使用します。(☛ P.34)

2023 / 10 / 05 12 : 34 : 56 [4分]
年 月 日 時 分 秒 期間(映像の記録時間)

履歴記録の再生画面

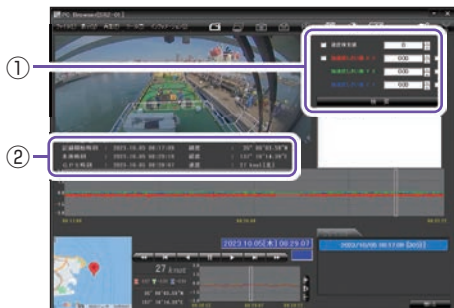
航行ルートや映像を記録したポイントを確認することができます。本体が電源ONしている間、GPS測位によって約1秒ごとに自船位置を記憶し、設定した時間分(P.59)の履歴(ログデータ)をSDカードに保存します。

※GPS測位できない場合は、自船位置を記録できません。

※合計時間が設定した時間を超えた場合は、古いデータから順に上書きされます。

※履歴(ログデータ)を作らないようにすることはできません。

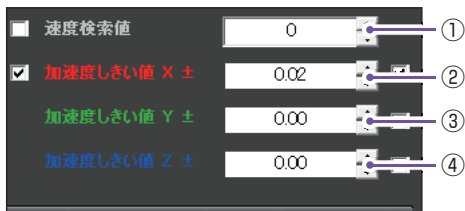
※履歴記録のデータ名は本体時刻を使用します。(P.34)



No	表示名	説明
①	検索	加速度の値を設定し、検索することができます。
②	データ情報 (記録開始時刻、本体時刻、GPS時刻、緯度、経度、速度)	映像の記録日などの情報を表示できます。

検索

履歴の中から設定した値を越える衝撃(加速度)の映像を検索でき、データとして表示します。



- ・✓を入れ、任意の数字を入力してください。
- ・検索ボタンをクリックすると入力した条件で検索します。

No	表示名	説明
①	速度検索値	検索したい速度の値を設定します。
②	加速度しきい値X±	検索したい前後方向の値を設定します。
③	加速度しきい値Y±	検索したい左右方向の値を設定します。
④	加速度しきい値Z±	検索したい上下方向の値を設定します。

データ情報

読み込まれたデータ名の記録開始時刻、本体時刻、GPS時刻、緯度、経度、速度(進行方向)を表示します。

記録開始時刻	: 2023.10.05 08:17:09	緯度	: 35° 00'03.59"N
本体時刻	: 2023.10.05 08:29:19	経度	: 137° 10'14.39"E
GPS時刻	: 2023.10.05 08:29:07	速度	: 27 knot [北]

保存(バックアップ)

SDカード内の映像は必要に応じて、パソコンなどに保存してください。

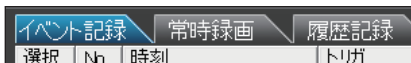
1. バックアップ

SDカードに記録されているデータをパソコンなどにバックアップできます。

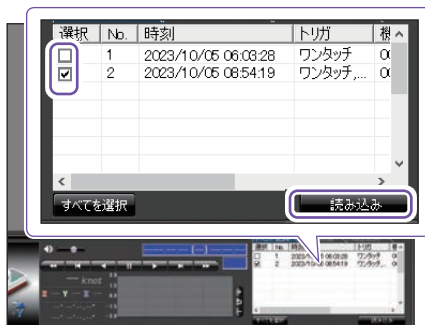
※バックアップしても記録した映像は削除されません。映像を削除するときは、録画データ削除(● P.62)を行ってください。

例：イベント記録をバックアップする場合

1-1 イベント記録をクリックする



1-2 データ名の一覧より、保存したい録画データ名に✓を入れ、[読み込み]をクリックする



※複数のデータを選択できます。

※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに✓が表示されます。

※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

1-3 [バックアップ] (バックアップ) をクリックする



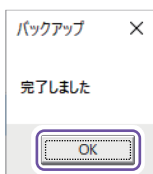
※メニューバーの[ツール]⇒[バックアップ]でも同じ画面表示になります。

1-4 保存先を指定し、[スタート]をクリックする



- ・全てバックアップ
✓を入れるとSDカードに記録されているすべての映像がバックアップの対象となります。

1-5 [OK]をクリックする



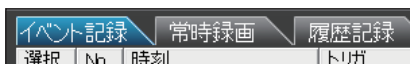
保存が完了します。

2. 動画変換

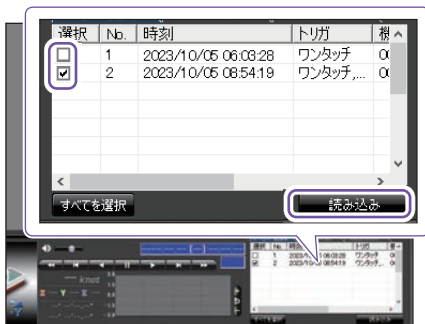
イベント記録と常時録画に映像を AVI 形式の動画に変換して保存できます。

例：イベント記録を動画変換する場合

2-1 イベント記録をクリックする



2-2 データ名の一覧より、動画変換したい録画データ名に✓を入れ、[読み込み]をクリックする



- ※複数のデータを選択できます。
- ※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに✓が表示されます。
- ※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
- ※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

2-3

 (動画変換) をクリックする


※メニューバーの[ツール]⇒[動画変換]でも同じ画面表示になります。

2-4

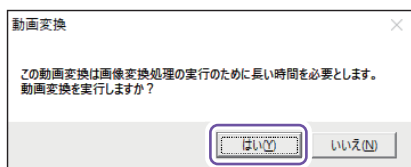
変換区間、圧縮形式、字幕、保存先やデータ名を指定し、[スタート]をクリックする



- ・変更区間について
全て変換するの✓を外すと変換区間を指定できます。
- ・字幕について
[日時設定]など、各項目に✓を入れると、保存データに字幕で各情報を表示します。

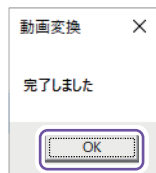
2-5

[はい]をクリックする



2-6

[OK]をクリックする



動画変換が完了します。

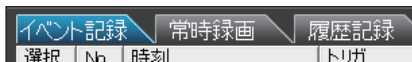
※*(映像を記録した日時とカメラ番号か、指定した名称).avi ファイルが保存されます。

3. 静止画変換

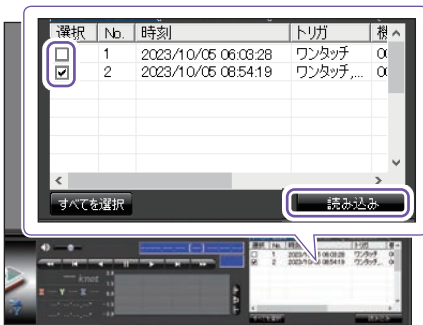
表示されている映像を JPEG 形式の静止画に変換して保存できます。

例：イベント記録を静止画変換する場合

3-1 イベント記録をクリックする



3-2 データ名の一覧より、静止画変換したい録画データ名に✓を入れ、 [読み込み]をクリックする



※複数のデータを選択できます。

※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに✓が表示されます。

※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

3-3 静止画変換(カメラアイコン)をクリックする



※メニューバーの[ツール]⇒[静止画変換]でも同じ画面表示になります。

3-4

[表示中に静止画すべて]、または[コマ数指定]を選択し、好みの保存先を指定し、[スタート]をクリックする



・表示中の静止画像

表示されている画面の映像を静止画に変換できます。

・コマ数指定 (選択した静止画から)

表示エリアの映像から範囲指定した時間分をコマ数指定した数で分割し、静止画を作ることができます。

<秒間>

範囲指定された、表示エリアの映像の長さ (秒) を表示しています。

<コマ/秒>

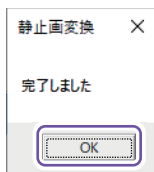
1秒間を何コマで分割するかを設定します。

※ 選択できる最大コマ数は、記録設定の録画コマ数 (P.59) が反映されます。

※ 静止画枚数は秒×コマ数になります。

3-5

[OK] をクリックする



静止画変換が完了します。

静止画変換しJPEG形式で保存した画像はWindowsの標準ソフトで見ることができます。

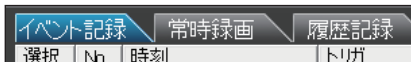
印刷

1. 記録した映像を印刷する

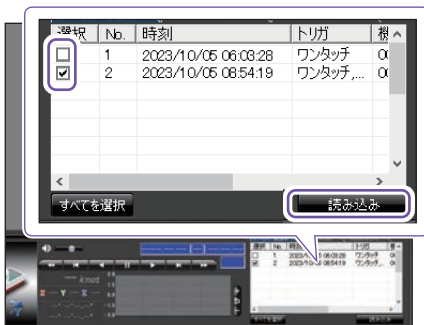
表示されている映像を印刷することができます。

例：イベント記録の映像を印刷する場合

1-1 イベント記録をクリックする



1-2 データ名の一覧より、印刷したい録画データ名に✓を入れ、[読み込み]をクリックする



※複数のデータを選択できます。

※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに✓が表示されます。

※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

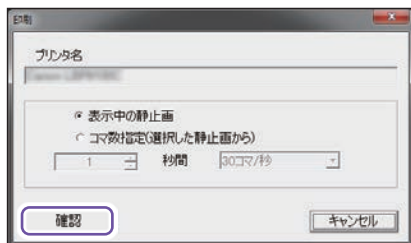
※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

1-3 録画データを選択し、 (印刷)をクリックする



※メニューバーの[ファイル]⇒[印刷]でも同じ画面表示になります。

1-4 [表示中の静止画すべて]または[コマ数指定]を選択し、[確認]をクリックする



- ・表示中の静止画
表示エリアの映像を印刷します。
- ・コマ数指定
表示エリアの映像から範囲指定した時間分を、コマ数指定した数で分割して印刷します。

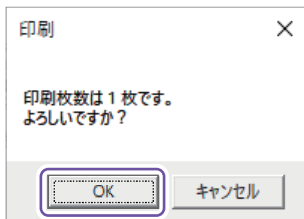
※選択できる最大コマ数は、記録設定の録画コマ数(●P.59)が反映されます。
※印刷枚数は秒×コマ数になります。

1-5 [印刷]をクリックする



- ・印刷
印刷枚数を確認します。[OK]をクリックすると印刷を行います。
- ・プリンタ設定
印刷するプリンタの設定を行います。
- ・1コマ表示
1枚に1コマの映像データを表示します。
- ・4コマ表示
1枚に4コマの映像データを表示します。

1-6 [OK]をクリックする



印刷します。

レポート表示

イベント記録、常時録画、履歴記録のレポートを表示し、印刷やCSV出力することができます。

※ 一度に複数のレポートは表示できません。

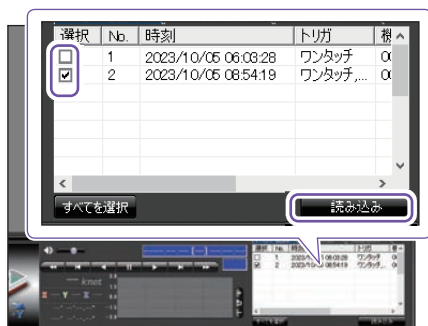
1. レポートを表示(印刷)する

例：イベント記録のレポートを表示/印刷する場合

1-1 [イベント記録]をクリックする



1-2 表示したい録画データ名に✓を入れ、[読み込み]をクリックする



※ 複数のデータを選択できます。

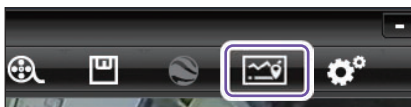
※ [すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに✓が表示されます。

※ 複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

※ 一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

選択した録画データが読み込まれ表示されます。

1-3 録画データを選択し、 (レポート表示)をクリックする



イベント記録レポート画面を表示されます。

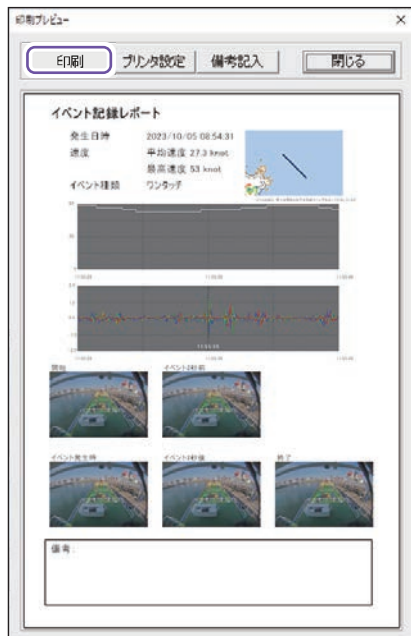
※メニューバーの[ツール]⇒[レポート表示]でも同じ画面表示になります。

- ・ イベント記録レポート画面の詳細は …  P.52
- ・ 常時録画レポート画面の詳細は ……  P.53
- ・ 履歴記録レポート画面の詳細は ……  P.54

1-4 印刷する場合は、[印刷]をクリックする

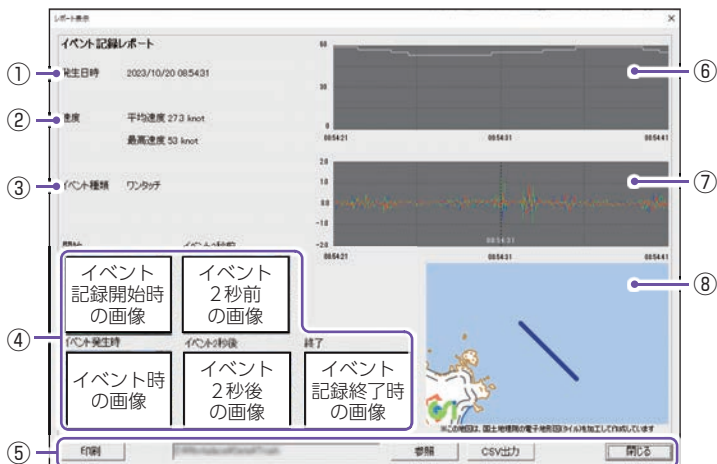


1-5 [印刷]をクリックする



印刷します。

イベント記録レポート画面



No.	表示名		説明
①	発生日時		イベント発生日時を表示します。
②	速度		平均速度と最高速度を表示します。
③	イベント種類		イベントの種類を表示します。
④	画像		録画データの開始/終了時、イベント発生時とその前後2秒の画像を表示します。
⑤	ボタン	印刷	印刷プレビューを表示します。
		参照	CSVデータの出力先を設定します。
		CSV出力	CSVデータを出力します。
		閉じる	レポート表示を閉じます。
⑥	速度グラフ		速度グラフを表示します。(縦軸は速度、横軸は時間を示します。)
⑦	加速度グラフ		加速度グラフを表示します。(縦軸は加速度、横軸は時間を示します。)
⑧	地図		地図を表示します。

※速度に関する表示(グラフを含む)や地図は、GPS非測位時には表示されません。

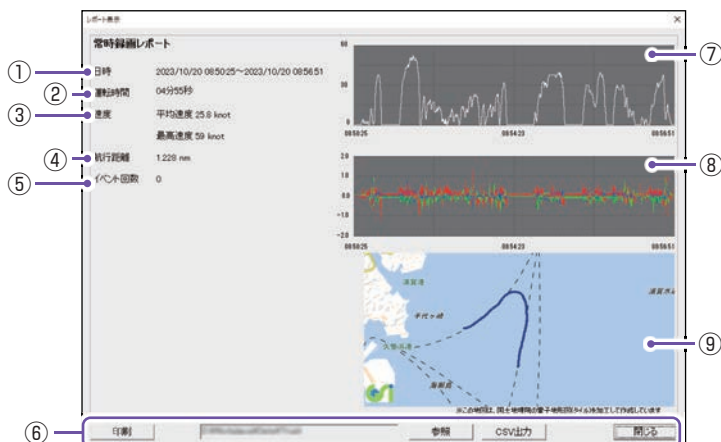
■ ボタン：印刷

イベント記録レポートの印刷プレビュー画面を表示します。



No.	表示名	説明
①	印刷	印刷します。
②	プリンタ設定	プリンタを設定します。
③	備考記入	備考欄に記入できます。
④	閉じる	印刷プレビューを閉じます。

常時録画レポート画面



No.	表示名		説明
①	日時		録画データの日時を表示します。
②	運転時間		操船時間を表示します。
③	速度		平均速度と最高速度を表示します。
④	航行距離		航行距離を表示します。
⑤	イベント回数		イベント回数を表示します。
⑥	ボタン	印刷	印刷プレビューを表示します。
		参照	CSVデータの出力先を設定します。
		CSV出力	CSVデータを出力します。
		閉じる	レポート表示を閉じます。
⑦	速度グラフ		速度グラフを表示します。(縦軸は速度、横軸は時間を示します。)
⑧	加速度グラフ		加速度グラフを表示します。(縦軸は加速度、横軸は時間を示します。)
⑨	地図		地図を表示します。

※速度に関する表示(グラフを含む)や地図は、GPS非測位時には表示されません。

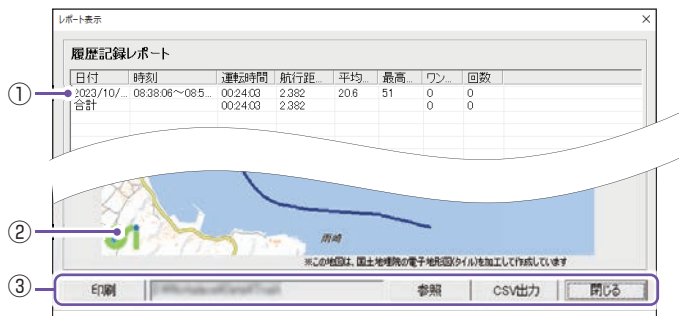
■ ボタン：印刷

常時録画レポートの印刷プレビュー画面を表示します。



No.	表示名	説明
①	印刷	印刷します。
②	プリンタ設定	プリンタを設定します。
③	備考記入	備考欄に記入できます。
④	閉じる	印刷プレビューを閉じます。

履歴記録レポート画面

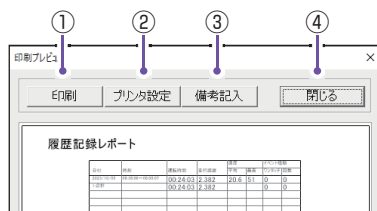


No.	表示名	説 明	
①	日付	記録年月日を表示します。	
	時刻	記録開始から終了の時刻を表示します。	
	運転時間	操船時間を表示します。	
	航行距離	航行距離を表示します。	
	平均速度	平均速度を表示します。	
	最高速度	最高速度を表示します。	
	ワンタッチ	ワンタッチ記録の回数を表示します。	
	回数	イベント回数の合計を表示します。	
②	地図	地図を表示します。	
③	ボタン	印刷	印刷プレビューを表示します。
		参照	CSVデータの出力先を設定します。
		CSV出力	CSVデータを出力します。
		閉じる	レポート表示を閉じます。

※速度に関する表示(グラフを含む)や地図は、GPS非測定時には表示されません。

■ ボタン：印刷

履歴記録レポートの印刷プレビュー画面を表示します。



No.	表示名	説明
①	印刷	印刷します。
②	プリンタ設定	プリンタを設定します。
③	備考記入	備考欄に記入できます。
④	閉じる	印刷プレビューを閉じます。

ログデータ変換

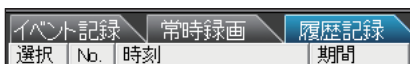
1. Google Earth 用のデータに変換する

蓄積された履歴データをKMLファイルに変換できます。変換したKMLファイルを使ってGoogle Earth上で全航行ルートを表示ができます。また記録した映像を静止画に変換して(●P.46) Google Earthの機能を使って、ルート上に表示・保存できます。

※あらかじめGoogle EarthのホームページよりGoogle Earth Pro(プロ)をダウンロードし、パソコンにインストールしておいてください。

※Google Earth Pro(プロ)のご使用方法等は、Google Earth のホームページをご確認ください。

1-1 [履歴記録]をクリックする



1-2 変換したいデータ名に✓を入れ、[読み込み]をクリックする



※複数のデータを選択できます。

※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに✓が表示されます。

※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

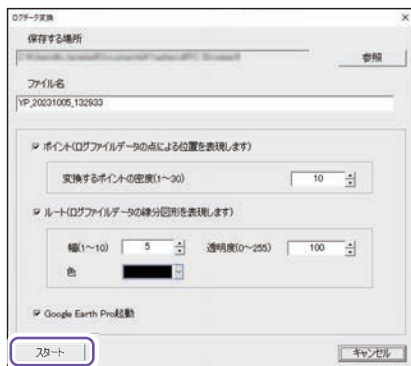
※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

1-3 (ログデータ変換)をクリックする



※メニューバーの[ツール]⇒[ログデータ変換]でも同様の動作となります。

1-4 保存する場所、お好みのファイル名、ポイント、ルートを設定し、[スタート]をクリックする



■ ポイント(ログファイルデータの点による位置を表現します)

GPS測位による1秒間隔の自船位置変化をポイントとしてGoogle Earthに表示させ、通過時刻や進行方向を見ることができます。

・変換するポイントの密度：(1～30)

Google Earthに表示させる自船位置の間隔を秒数(1～30)で設定します。数値を大きくすると間隔が、粗く(広く)なります。数値を小さくすると自船位置の細かな変化を見ることができます。

■ ルート(ログファイルデータの線分図形を表現します)

航行軌跡を線で表示します。

・幅：(1～10)

航行軌跡表示の幅を設定します。

・透明度：(0～255)

航行軌跡表示の透明度を設定します。0は完全な透明を意味し、数字が大きくなるほど線は濃くなっていきます。

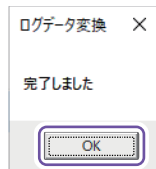
・色

航行軌跡表示の色を設定します。

■ Google Earth Pro起動

ログファイル保存完了後、Google Earth Pro(プロ)を自動で起動します。

1-5 [OK]をクリックする



※[Google Earth Pro起動]に✓を入れると、ログファイル保存完了後Google Earth Pro(プロ)が起動し、画面上に航行軌跡が表示されます。

※航行軌跡はGoogle Earth上の地形と必ずしも一致しません。ズレて表示されることがありますのでご了承ください。

データ変換が完了します。

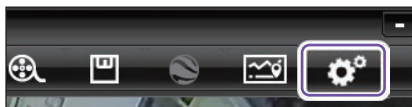
設定画面の表示方法

1. 記録設定画面を表示する

各種の設定変更やSDカードの初期化や録画データのバックアップ、SDカードからの録画データ削除を行うことができます。

※ 設定内容はSDカードに保存されます。SDカードを本機に戻し、本機の電源が入ると設定内容が読み込まれ本機に反映されます。

1-1 (記録設定) をクリックする



記録設定画面を表示します。

※ メニューバーの[ツール]⇒[記録設定]をクリックしても同じ画面を表示します。



● 設定を変更する前に…

[使用機種]がSDカードの設定：SRZ-01になっているかを確認してください。( P.66「SDカードの機種設定を確認する」)

※ 異なる機種を選択した場合、本機は正常に動作しません。

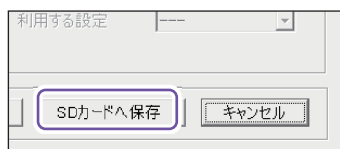
記録設定



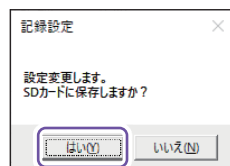
No.	表示名	説明
①	記録設定	録画方法やイベント記録の詳細、上書き動作を設定します。(P.59)
②	システム	警告音や日時、使用機種などを設定します。(P.60)
③	衝撃感度設定	設置角度検出の設定をします。(P.60)
④	マルチバッテリー設定	本機では使用しません。
⑤	SD カードフォーマット	SD カード内のデータをすべて消去します。(P.61)
⑥	録画データ削除	録画データ削除 録画データを消去します。(P.62)
		記録設定データ初期化 記録設定項目を工場出荷時の状態にリセットします。
⑦	バックアップ	SD カードに記録されているデータをパソコンなどにバックアップします。(P.63)
⑧	初期設定に戻す	記録設定データを初期化します。(P.63)

● 設定変更後は必ず下記手順を行ってください。

① [SDカードへ保存]をクリックする



② [[はい]]をクリックする



1. 記録設定

★：初期値

項 目	設 定	説 明
録画方法※1	常時録画	分電盤スイッチのONからOFFまでの映像をSDカードに記録します。 ※ [常時録画]に設定した場合、イベント記録の映像は記録されません。ただし、イベント検出されたことは、常時録画の録画データ内にトリガとして記録されます。
	イベント記録	記録ボタンを押した場合に映像を記録します。
	常時+イベント(★)	常時録画を行いながら記録ボタンを押した際、映像を別のデータで記録します。
解像度	高(2560×1080)★、 低(1792×756)	記録する映像の解像度を選択できます。
録画コマ数	30コマ/秒(★)、15コマ/秒、 10コマ/秒、5コマ/秒、 1コマ/秒、2コマ/分、 1コマ/分、12コマ/時、 6コマ/時	記録する映像のコマ数を選択できます。 ※ 録画コマ数を[1コマ/秒]以下に設定した場合、イベント記録コマ数は[1コマ/秒]で固定となります。
イベント記録時間	10,10[20秒](★)、 12,8[20秒]、15,5[20秒]、 18,12[30秒]、20,10[30秒]、 20,20[40秒]、25,15[40秒]、 30,10[40秒]、30,20[50秒]、 25,25[50秒]、30,30[60秒]	イベント記録時間を設定します。 イベント発生前の時間(秒)とイベント発生後の時間(秒)の組み合わせを選択できます。
音声記録	ON(★)、OFF	音声も記録する場合に[ON]にします。
履歴記録時間	24時間(★)、168時間、 480時間	選択した時間分のログ(加速度/時間)を記録します。
履歴記録コマ数	1コマ/秒(★)、2コマ/秒	1秒間に記録する履歴記録のコマ数を選択します。
上書きモード	ON(★)、OFF	[ON]の場合、SDカード容量がいっぱいになると古いデータから順に上書きされます。[OFF]の場合、上書きされません。

※1：すでにSDカードに記録した録画データがあり、現在の設定から別の記録形式へ変更する場合([常時録画]から[イベント記録]への変更など)は、SDカードに記録されている録画データを削除し、新たに変更した設定内容で記録を行います。設定を変更する場合は、SDカードに記録している録画データをパソコンなどにバックアップしてください。(P.43、63)

2. システム

★：初期値

項 目	設 定	説 明
ビープ音	ON(★)、OFF	イベント記録時の音のON/OFFを選択します。
SDカードID	—	SDカードIDを設定できます。SDカードIDと本機IDをログに書き込むことでSDカードと本機の管理に役立てることができます。
パスワード	—	設定変更、録画データ閲覧を制限するためのパスワードを設定できます。(1000～9999の4桁) ※ 設定後、次回SDカード読み込み時にパスワードの入力を求められます。
日時設定	—	[設定する]に✓を入れ、日付や時刻を設定できます。 ※ 本機を電源ONするとSDカードから読み込み、日時を補正します。 ※ 手動設定する場合は現在時刻ではなく、次に本機を電源ONする日付や時刻を想定して設定してください。 ※ GPS測位している場合、電源OFFした際に本体時刻の補正が自動的に行われます。
使用機種	—	使用する機種を選択できます。(P.66) ※ メニューバーの[ツール]⇒[機種選択]からも変更できます。

3. 衝撃感度設定

★：初期値

項 目	設 定	説 明
設置角度検出 を実行	—	本機を初めて取り付けたときや、設置場所を変更した場合は設置角度検出を実行してください。(P.26)

4. マルチバッテリー設定

本機では使用しません。

5. SDカードフォーマット

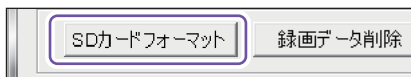
一度SDカード内のデータをすべて消去し、必要なデータを書き戻します。工場出荷時の状態に戻す場合や、SDカードからの読み込みが遅くなった場合にフォーマットを行ってください。

※パソコンによるSDカードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しない場合があります。フォーマットを行う場合は、専用ソフトで行ってください。

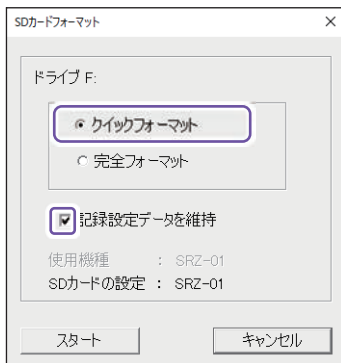
※必ずSDHC規格またはSDXC規格に対応したカードリーダーやカードスロットを備えたパソコンをご使用ください。それぞれの規格に対応していない場合、SDカードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできないことがあります。

例：クイックフォーマットの場合

5-1 [SDカードフォーマット]をクリックする



5-2 [クイックフォーマット]を選択し、[記録設定データを維持]に✓を入れ、[スタート]をクリックする



・クイックフォーマット

録画データを消去する簡易的なフォーマットのため短時間で終了します。

・完全フォーマット (P.25)

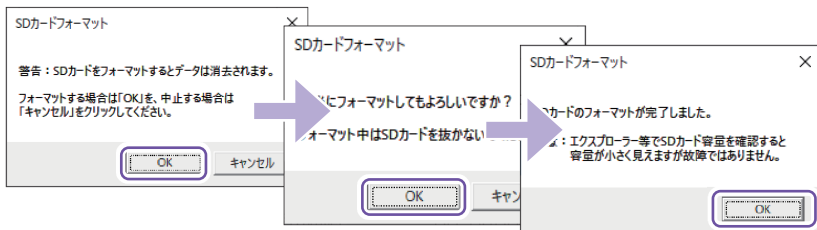
SDカード内のチェックを行いながらフォーマットするため時間がかかります。

・記録設定データを維持

SDカードの初期化を行っても、記録設定データを保持します。

※ ✓を外すと工場出荷時の内容に戻り、現在の記録設定データは削除されます。

5-3 画面を確認し、[OK]をクリックする



フォーマットが完了します。

6. 録画データ削除

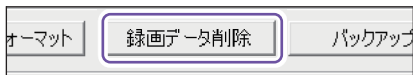
録画データ削除をクリックすると[録画データ削除]と[記録設定データ初期化]が選択画面に表示されます。

⚠ 注意

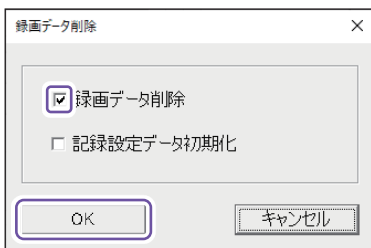
- ・SDカード内に記録されたデータを削除します。いったん削除すると、元には戻せないためご注意ください。
- ・記録した映像を保存しておきたい場合は、データをパソコンなどの別の場所に保存してください。(P.43、63)

例：録画データのみ削除する場合

6-1 [録画データ削除]をクリックする

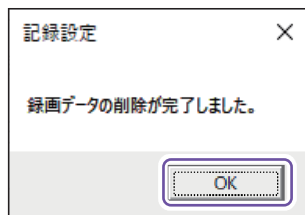
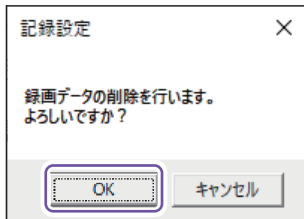


6-2 [録画データ削除]に✓が入っていることを確認し、[OK]をクリックする



- ・録画データ削除
✓を入れると録画データを削除します。
 - ・記録設定データ初期化
✓を入れると記録設定データを初期化します。
- ※ 録画データの削除と初期化を同時に行う場合は、両方に✓を入れてください。

6-3 画面を確認し、[OK]をクリックする

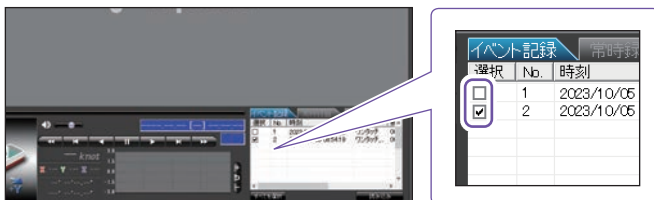


録画データの削除が完了します。

7. バックアップ

SDカードに記録されてるデータをパソコンなどにバックアップできます。

7-1 データ名の一覧より、保存したい録画データ名に✓を入れる



7-2 (記録設定)をクリックする



7-3 [バックアップ]をクリックする

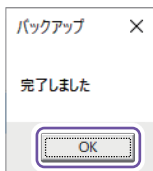


7-4 保存先を指定し、[スタート]をクリックする



・全てバックアップ
✓を入れるとSDカードに記録されているすべての映像がバックアップの対象となります。

7-5 [OK]をクリックする



保存が完了します。

8. 初期設定に戻す

クリックすると記録設定データを初期化します。

インフォメーション

インフォメーションでは、バージョン情報と弊社ホームページを表示できます。

1. バージョン情報を確認する

ソフトウェアや本体のバージョンなどを表示します。

1-1 メニューバーの[インフォメーション]⇒[バージョン情報]をクリックする



バージョンなどを表示します。

●ファームウェアのバージョン情報が表示されない場合

専用ソフトにSDカードを読み込んでいない場合やSDカードに録画データが無い場合、ファームウェアのバージョン情報を表示できません。

 をクリックして、SDカードから録画データを読み込み、バージョン情報を確認してください。



1-2 [OK]をクリックする



- ・製品名
専用ソフトの名称です。
- ・バージョン番号
専用ソフトのバージョンです。
- ・ファームウェア
ドライブレコーダー本体のバージョンです。

バージョン情報の表示を閉じます。

2. ホームページを表示する

2-1 メニューバーの[インフォメーション]⇒[ホームページ]をクリックする



※画面右上のをクリックしてもユピテルホームページを開くことができます。

ユピテルホームページを表示します。

3. その他

「Google Maps/Google Earth 追加利用規約」「Google Privacy Policy」をクリックするとGoogleマップ/Googleアースなどの利用規約を確認することができます。

※インターネットの接続が必要になります。あらかじめパソコンをインターネットに接続してから行ってください。



SDカードの機種設定の確認/変更

専用ソフトで、SDカードの機種設定を確認することができます。SDカードの機種設定と使用する機種が異なると、録画できない場合があります。使用する機種を変更する場合は、必ずSDカードの機種設定を変更してください。(● P.67)

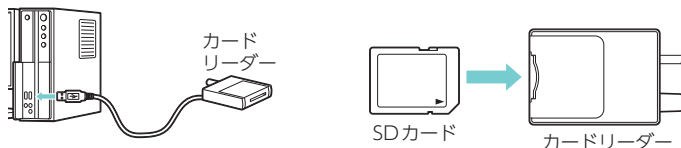
1. SDカードの機種設定を確認する

1-1 最新の専用ソフトに更新する

下記のURLから最新のバージョンに更新してください。

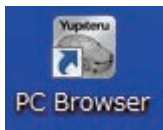
https://www.yupiteru.co.jp/download/update/bu_drr.html

1-2 カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードをカードリーダーに接続する

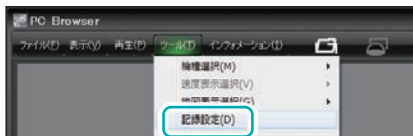


- ※ ご使用のSDカード容量に対応していないカードリーダーを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。
- ※ SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーを接続する必要はありません。

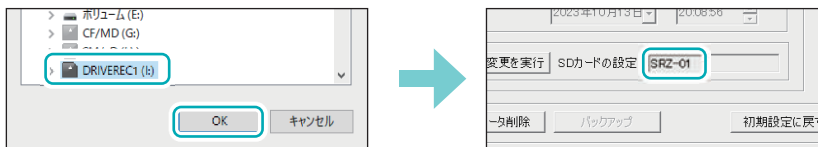
1-3 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



1-4 メニューバーの[ツール]⇒[記録設定]を選択する



1-5 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



設定画面の「SDカードの設定」に設定している機種名が表示されます。

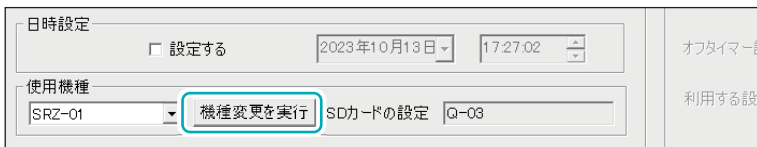
2. SDカードの機種設定を変更する

例：SRZ-01に変更する場合

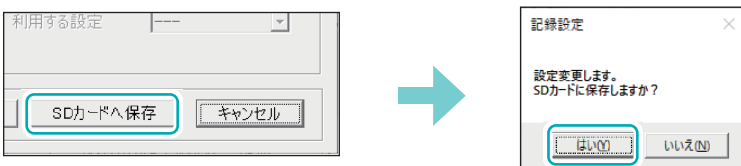
2-1 設定画面の[使用機種] をクリックし使用機種を選択する



2-2 [機種変更を実行]をクリックする



2-3 [SDカードへ保存]をクリックし、[はい]をクリックする



使用機種が変更されます。

※「設定が変更されたためデータを削除します。バックアップしますか?」と案内を表示する場合があります。表示した場合は、SDカードをフォーマットし録画データが削除されます。必要に応じて録画データをバックアップしてください。

動作一覧

	本体の動作		ランプの状態	
通常時	常時録画中	—	PWR (緑)  点灯	
			REC (青)  点灯	
	イベント記録中	上書き時	PWR (緑)  点灯	
			REC (青)  遅点滅	
エラー時	データ容量の上限に達した時	—	PWR (緑)  点灯	
			REC (青)  早点滅	
	SDカードが正しく挿入されていない時	—	PWR (緑)  点灯	
			REC (青)  消灯	
	SDカードのプロテクトスイッチがON(書き込み禁止)になっている時		PWR (緑)  早点滅からの点灯	
	本機専用以外のSDカードが挿入されている時		REC (青)  早点滅からの消灯	

	音	ページ	備考 / 対処法
	—	P.14	—
		—	
	『ピー』と鳴る	P.14	—
		—	
	『ピーピーピーピー』 と4回だけ鳴る	P.16	以下を確認してください。 ・容量が大きいSDカードで録画する (➡ P.73) ・専用ソフトで[上書きモード：ON]にする (➡ P.59) ・専用ソフトで[解像度]や[録画コマ数]を変更する (➡ P.59)
	『ピー』と鳴る	—	SDカードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。分電盤スイッチをOFFし、SDカードを抜き取り、再度正しく挿入してください。(➡ P.12)
	『ピーピーピー』と鳴る	—	分電盤スイッチをOFFし、SDカードを抜き取り、プロテクトスイッチをOFFにして再度正しく挿入してください。(➡ P.12)
		—	・本機専用のSDカードを正しく挿入してください。(➡ P.12) ・SDカードを専用ソフトで[機種選択][完全フォーマット]を行ってください。(➡ P.24)

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。

電源がONにならない

- ☐ ブレーカーが[ON]になっているか確認してください。
- ☐ 分電盤のスイッチが[ON]になっているか確認してください。
- ☐ 電源ケーブルが外れていないか確認してください。
- ☐ ヒューズケーブルのヒューズが切れていないか確認してください。(● P.18)

映像が記録できない

- ☐ SDカードが正しく挿入されていますか。
SDカードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。分電盤スイッチをOFFし、SDカードを抜き取り、再度正しく挿入してください。(● P.12)
- ☐ 記録設定の上書きモードが[OFF]になっていませんか。
上書きモードが[OFF]の場合上書きができません。
SDカードを取り出し、専用ソフト上で設定を変更します。(● P.59)

衝撃によるイベント記録をしない

- ☐ 本機は衝撃(Gセンサー)によるイベント記録はありません。
イベント記録はワンタッチ記録のみとなります。(● P.15)

室内の映像が暗い

- ☐ NIGHT(ナイト)モードをONにしてください。
映像を明るく表示します。(● P.33)

録画データを再生できない

- ☐ 専用ソフトで再生していますか。
弊社独自フォーマットのため、汎用の動画再生ソフトでは再生できません。
弊社ホームページより専用ソフトをダウンロードし、インストールしてください。(● P.23)

SDカードに録画データが保存されていない

- ☐ 録画データのバックアップ等を行い、専用ソフトでSDカードをフォーマットしてください。(● P.61)
- ☐ SDカードは消耗品です。定期的に新品に交換してください。
別売品の専用SDカード以外は使用しないでください。製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。

専用ソフトが起動できない/ 起動できるが、SDカードのデータを読み込めない

☐ パソコンにDirectXがインストールされていますか。

弊社ホームページより専用ソフトをダウンロードし、インストールしてください。(● P.23)
専用ソフトのインストール時に、DirectXのインストール画面が表示されます。

専用ソフトで速度 / 地図が表示されない

☐ GPSを測位していません。

船室の奥まった位置に取り付けた場合はGPSを受信できない場合があります。障害物や
遮へい物のない見通しの良い場所へ本体取り付け位置を変更してください。

☐ 購入後、初めての使用ですか。

初めて使用する場合、測位に時間がかかることがあります。

障害物や遮へい物のない見通しの良い場所で10～20分程度通電状態にし、GPS信号を
受信させてください。

専用ソフトを起動すると「ディスプレイ設定 (DPI) を確認してください」と表示される

☐ ご使用のパソコンのディスプレイ設定を開いて、項目のサイズが「100%」に なっているか確認してください。

専用ソフトを起動すると「このSDカードの記録データを読み込むことができません。 実行ユーザーの権限などを確認してください。」と表示される

☐ エラーコードが[1：5]の場合

セキュリティが起因している可能性があります。システム管理者様へご相談ください。

☐ エラーコードが[3：5]の場合

「管理者の権限」「アドミニストレーター (Administrator)」で専用ソフトを起動していない
ことが考えられます。以下の点をご確認ください。

①デスクトップ上にある専用ソフトのショートカットアイコンを「右クリック」⇒「プロパ
ティ」を選択してください。

②「互換性」タブ内の「管理者としてプログラムを実行する」にチェックを入れてください。

※上記操作で改善が無い場合、PCのセキュリティ等が起因している可能性があります。

専用ソフトでSDカードを読み込むと「有効なSDカードではありません」と表示される

☐ 専用ソフトで[機種選択][完全フォーマット]を行ってください。(● P.24)

仕様

外形寸法	103(幅)×128(高さ)×51(奥行)mm (突起部除く)	
本体重量	約825g (電源ケーブル含む/SDカード除く)	
記録媒体	専用SDカード(16GB～128GB)対応 ※SDカードは付属していません。 ※別売品の専用SDカード以外は使用しないでください。	
撮像素子	200万画素カラーCMOS (STARVIS™技術搭載※ ¹)	
最大記録画角	水平360°×垂直360° (2カメラ映像を合成)	
記録解像度	最大280万画素※ ²	高 (2560×1080)/低 (1792×756)
HDR	有	
最低被写体照度	0.5LUX (ルクス)	
GPS	有	
Gセンサー	有 (値取得のみ)	
記録方式	常時録画/イベント記録 (ワンタッチ記録<手動録画>)/常時録画+イベント記録	
録画データ構成	常時録画: 分割なし イベント記録: 20秒単位、30秒単位、40秒単位、50秒単位、60秒単位	
音声録音	ON / OFF 可能	
履歴記録	480時間、168時間、24時間	
イベント記録時間	前後合計: 60秒、50秒、40秒、30秒、20秒	
フレームレート	30コマ/秒、15コマ/秒、10コマ/秒、5コマ/秒、1コマ/秒 2コマ/分※ ³ 、1コマ/分※ ³ 12コマ/時※ ³ 、6コマ/時※ ³	
映像ファイル形式	独自フォーマット	
記録映像再生方法	専用ブラウザソフト※ ⁴ (弊社ホームページよりダウンロードできます。)	
防水・防塵性能	防水・防塵 IP68準拠 [水深30mまで/30分] ※SDカードカバーを完全に閉じている場合に限る。 ※当社の定める試験条件による。	
電源電圧	DC12V / 24V	
消費電力	7W	
動作温度範囲	-10℃～+60℃	
製品保証期間	1年 (消耗品は除く)	

※上記は、ドライブレコーダー協議会「表示ガイドライン」に基づく表記です。

※1: STARVIS(スタービス)は、監視カメラ用途CMOSイメージセンサ向けに開発された、高感度・高画質を実現するソニーグループ株式会社の裏面照射型画素技術です。

※2: 専用ブラウザソフトの画像処理で減少します。

※3: 録画コマ数を[1コマ/秒]以下に設定した場合、イベント記録のコマ数は[1コマ/秒]で固定となります。

※4: Microsoft Windows 11、10に対応。

- ・STARVISは、ソニーグループ株式会社の商標です
- ・Google、Google マップ、Google Earthは、Google LLC の商標です。
- ・[Windows®]、[Microsoft®Windows®] は、Microsoft Corporation の、商標または登録商標です。
- ・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

録画時間の目安

下記表は目安で、絶対保証値ではありません。被写体や周囲環境などの要因により、録画時間とイベント記録件数は変化します。

※[常時+イベント]はおおよそですが、SDカード容量を常時70%、イベント30%で使用します。
[常時録画]や[イベント記録]の場合は、選択した録画方法でSDカード容量を100%使用します。

1. 録画時間

■ 解像度 [高 (2560 × 1080)]

	16GB	32GB	64GB	128GB
30コマ/秒	約140分	約280分	約560分	約1,120分
15コマ/秒	約280分	約560分	約1,120分	約2,240分
10コマ/秒	約420分	約840分	約1,680分	約3,360分
5コマ/秒	約840分	約1,680分	約3,360分	約6,720分
1コマ/秒	約2,100分	約4,200分	約8,400分	約16,800分
2コマ/分※ ¹	約1,050時間	約2,100時間	約4,200時間	約8,400時間
1コマ/分※ ¹	約2,100時間	約4,200時間	約8,400時間	約16,800時間
12コマ/時※ ¹	約10,500時間	約21,000時間	約42,000時間	約84,000時間
6コマ/時※ ¹	約21,000時間	約42,000時間	約84,000時間	約168,000時間

■ 解像度 [低 (1792 × 756)]

	16GB	32GB	64GB	128GB
30コマ/秒	約210分	約420分	約840分	約1,680分
15コマ/秒	約420分	約840分	約1,680分	約3,360分
10コマ/秒	約630分	約1,260分	約2,520分	約5,040分
5コマ/秒	約1,260分	約2,520分	約5,040分	約10,080分
1コマ/秒	約3,150分	約6,300分	約12,600分	約25,200分
2コマ/分※ ¹	約2,000時間	約4,000時間	約8,000時間	約16,000時間
1コマ/分※ ¹	約4,000時間	約8,000時間	約16,000時間	約32,000時間
12コマ/時※ ¹	約20,000時間	約40,000時間	約80,000時間	約160,000時間
6コマ/時※ ¹	約40,000時間	約80,000時間	約160,000時間	約320,000時間

※1：音声記録をOFFにした場合の目安時間になります。

2. イベント記録件数

[16GB]のSDカードで、以下のようになります。

※128GBでは8倍、64GBでは4倍、32GBでは2倍の記録件数になります。

■ 解像度[高(2560×1080)]

	30コマ/秒	15コマ/秒	10コマ/秒	5コマ/秒	1コマ/秒
イベント記録時間 前後の合計60秒	140件	280件	420件	840件	2,100件
イベント記録時間 前後の合計50秒	160件	320件	480件	960件	2,400件
イベント記録時間 前後の合計40秒	210件	420件	630件	1,260件	3,150件
イベント記録時間 前後の合計30秒	280件	560件	840件	1,680件	4,200件
イベント記録時間 前後の合計20秒	420件	840件	1,260件	2,520件	6,300件

■ 解像度[低(1792×756)]

	30コマ/秒	15コマ/秒	10コマ/秒	5コマ/秒	1コマ/秒
イベント記録時間 前後の合計60秒	210件	420件	630件	1,260件	3,150件
イベント記録時間 前後の合計50秒	240件	480件	720件	1,440件	3,600件
イベント記録時間 前後の合計40秒	315件	630件	945件	1,890件	4,725件
イベント記録時間 前後の合計30秒	420件	840件	1,260件	2,520件	6,300件
イベント記録時間 前後の合計20秒	630件	1,260件	1,890件	3,780件	9,450件

アフターサービス

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中有的时候

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

※修理品の取り付け・取り外しにかかる費用は補償いたしかねます。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- ・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- ・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- ・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(年末年始等、当社指定期間を除く)

故障相談や取扱方法に関する
お問い合わせ



0120-998-036

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書、専用ソフトは随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。

(<https://www.yupiteru.co.jp/>)